

令和4年度 第1回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会 次第

日時：令和4年6月20日（月）午前10時00分～

場所：加東市役所 3階 302会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 市長挨拶

4 報告事項

- (1) 令和4年度 当初予算の概要 ≪資料1≫
- (2) 経営比較分析表（令和2年度決算） ≪資料2≫

5 その他

次回の審議会について

6 閉 会

加東市水道事業及び下水道事業運営審議会 委員名簿

審議会役職	区 分	所 属 等	氏 名
会長	第3条第2項第1号 (学識経験を有する者)	大阪商業大学 総合経営学部教授	梅 野 巨 利
		近畿税理士会 社支部	小 倉 康
会長職務代理者		近畿税理士会 社支部	神 田 耕 司
	第3条第2項第2号 (関係団体から推薦された者)	加東市消費者協会	小 林 邦 子
		加東市区長会	鷹 尾 良 晴
		加東市商工会	吉田伊佐見
	第3条第2項第3号 (一般公募による市民)	一般公募	臼井すず子
		一般公募	丸山美智子
	第3条第2項第4号 (その他市長が必要と認める者)	加東市まちづくり推進市民会議 委員	村上加奈子
		加東市総務財政部・部長	肥 田 繁 樹

※区分単位で氏名 50 音順（市職員選出委員を除く）、敬称略

市・出席者名簿

所属・役職	氏 名
市 長	岩 根 正
技 監	野 崎 敏
上下水道部・部長	小 坂 征 幸
上下水道部管理課・課長	阿 江 英 俊
上下水道部工務課・課長	西 角 昌 記
上下水道部工務課・副課長	荻 野 克 弥
上下水道部管理課・係長	遠 藤 祐 希
上下水道部管理課・主査	神 戸 幸 子
上下水道部管理課・主事	藤 井 小 夜

301

令和4年度 第1回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会 配席(301・302)

神田職務代理

梅野会長

小倉

小林

鷹尾

吉田

臼井

丸山

村上

肥田

(欠席)

録音機

上下水道部
小坂部長

野崎技監

岩根市長

工務課
荻野副課長

工務課
西角課長

阿江課長 | 遠藤係長
(事務局)

神戸主査 | 藤井主査

煙斗

出入口

傍聴席 5人(椅子のみ)

302

令和4年度 当初予算の概要

令和 4 年度
水道事業会計当初予算の概要

目 次

1	業務の予定量.....	1 P
2 - 1	予算の概要（収益的収支）.....	2 P
2 - 2	予算の概要（資本的収支）.....	3 P
3 - 1	予算の内訳（収益的収入）.....	4 P
3 - 2	予算の内訳（収益的支出）.....	5 P
3 - 3	予算の内訳（資本的収入）.....	6 P
3 - 4	予算の内訳（資本的支出）.....	7 P
4 - 1	主要な事業（安全）.....	8 P
4 - 2	主要な事業（強靱）.....	9 P
4 - 3	主要な事業（強靱）.....	10 P
4 - 4	主要な事業（持続）.....	11 P
4 - 5	主要な事業（持続）.....	12 P

1 業務の予定量

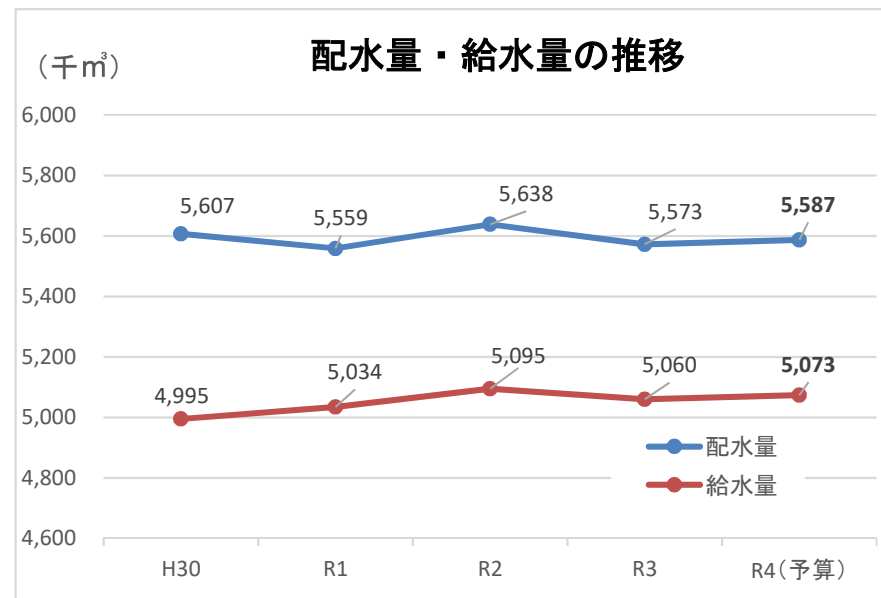
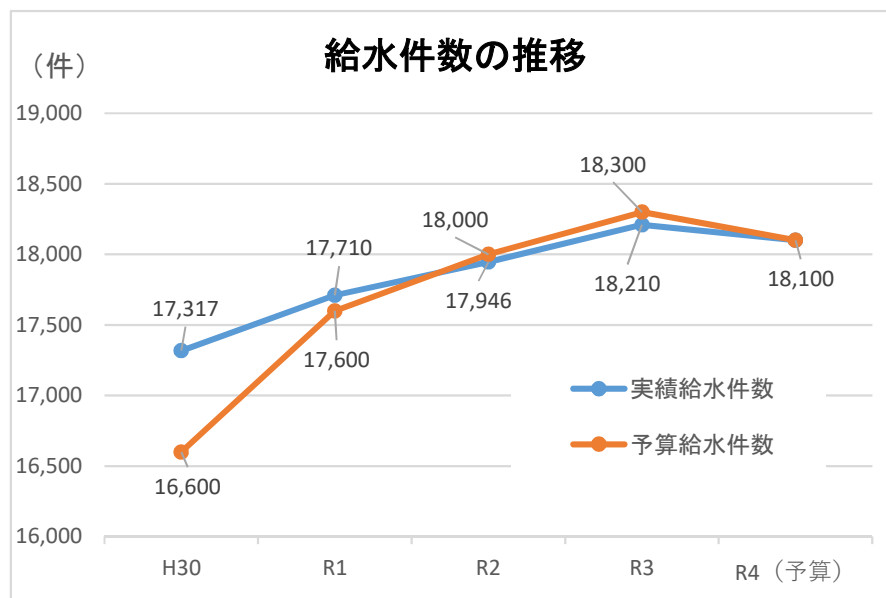
区 分	令和4年度 A（予定）	令和3年度 B（実績）	対前年度比	
			A-B	A/B(%)
給 水 件 数	18,100件	18,210件	△ 110件	99.4%
年間配水量	5,587,172m ³	5,572,515m ³	14,657m ³	100.3%
年間給水量	5,073,152m ³	5,059,911m ³	13,241m ³	100.3%
有 収 率	90.8%	90.8%	0	0

※令和4年度の年間配水量は前年度有収率で算出

給水件数は、前年度実績と比べて、110件減の18,100件を予定しています。

配水量・給水量は、おおむね横ばいの状況で推移しており、前年度並みを予定しています。

本市の給水人口は減少する傾向にありますが、世帯の細分化が進み、給水件数は18,000件程度が続くと予測します。



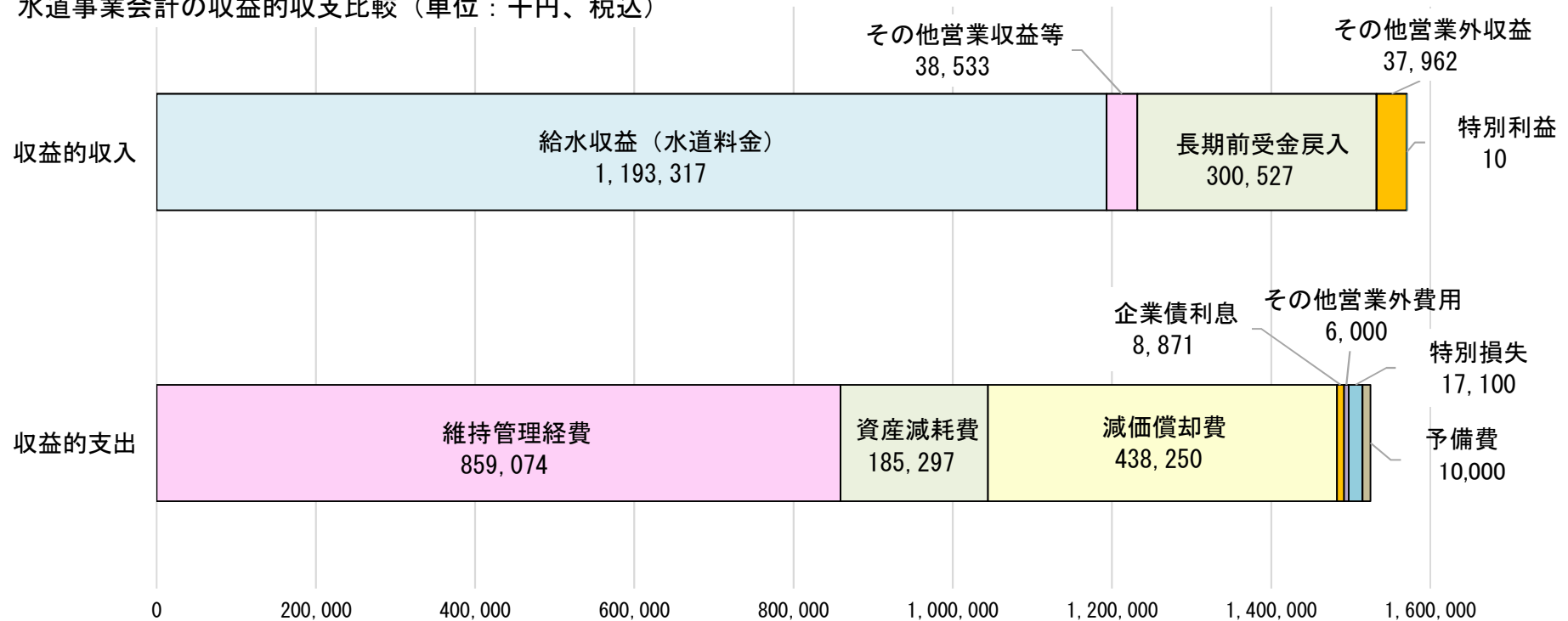
2-1 予算の概要（収益的収支）

水道水をつくるための予算（収益的収支）

■収入 15億7,034万9,000円（大部分がお客さまからの水道料金収入です。）

■支出 15億2,459万2,000円（受水費、人件費、修繕費や委託料などの維持管理経費と減価償却費や支払利息などです。）

水道事業会計の収益的収支比較（単位：千円、税込）



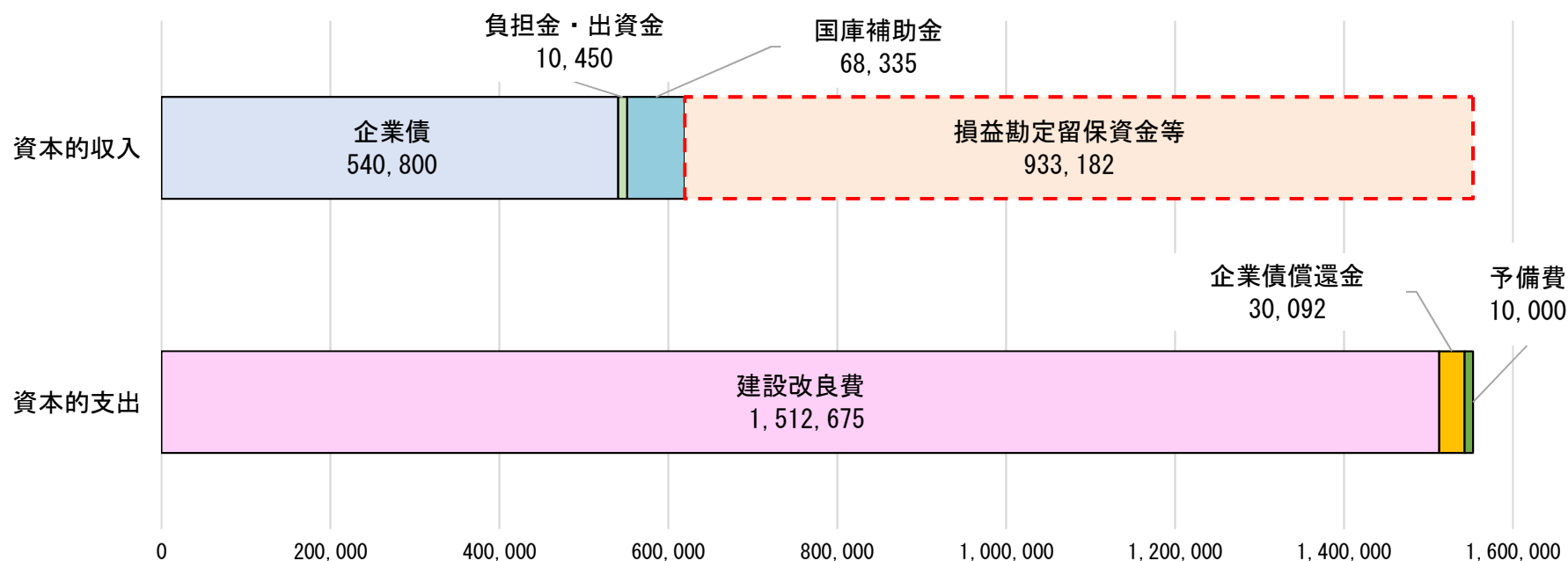
2-2 予算の概要（資本的収支）

水道施設をつくるための予算（資本的収支）

■収入 6億1,958万5,000円（企業債借入金及び国からの補助金などです。）

■支出 15億5,276万7,000円（建設改良費及び企業債借入金の返済などです。）

水道事業会計の資本的収支比較（単位：千円、税込）



※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、損益勘定留保資金等で補てんします。

3-1 予算内訳（収益的收入）

（単位：千円、税込）

科 目	令和4年度 A	令和3年度 B	差引増減 A-B	対前年度比 A/B(%)
水道事業収益	1,570,349	1,621,016	△ 50,667	96.9
営業収益	1,231,850	1,234,143	△ 2,293	99.8
給 水 収 益	1,193,317	1,193,187	130	100.0
受 託 工 事 収 益	110	110	0	100.0
そ の 他 営 業 収 益	38,423	40,846	△ 2,423	94.1
営業外収益	338,489	386,863	△ 48,374	87.5
受 取 利 息 及 び 配 当 金	4,665	4,960	△ 295	94.1
分 担 金	29,546	26,356	3,190	112.1
長 期 前 受 金 戻 入	300,527	353,723	△ 53,196	85.0
国 庫 補 助 金	1,744	1,000	744	174.4
雑 収 益	2,007	824	1,183	243.6
特別利益	10	10	0	100.0
過 年 度 損 益 修 正 益	10	10	0	100.0

給水収益は令和3年度並みの横ばい

電算システムの減価償却の終了に伴い、
下水道使用料の徴収手数料が減少

新設給水に係る加入分担金の増加

広沢浄水場更新工事に伴う、施設の一部撤去により減価償却費に対応する補助金収益化額が減少

3-2 予算内訳（収益的支出）

（単位：千円、税込）

科 目	令和4年度 A	令和3年度 B	差引増減 A-B	対前年度比 A/B(%)
水道事業費用	1,524,592	1,460,425	64,167	104.4
営業費用	1,482,621	1,430,687	51,934	103.6
原水及び浄水費	529,745	535,584	△ 5,839	98.9
配水及び給水費	113,775	110,062	3,713	103.4
受託工事費	110	110	0	100.0
総 係 費	215,444	161,717	53,727	133.2
減価償却費	438,250	454,354	△ 16,104	96.5
資産減耗費	185,297	168,860	16,437	109.7
営業外費用	14,871	11,238	3,633	132.3
支払利息及び 企業債取扱諸費	8,871	5,238	3,633	169.4
雑 支 出	1,000	1,000	0	100.0
消費税及び 地方消費税	5,000	5,000	0	100.0
特別損失	17,100	8,500	8,600	201.2
過年度損益修正損	5,000	3,000	2,000	166.7
その他特別損失	12,100	5,500	6,600	220.0
予備費	10,000	10,000	0	100.0
予備費	10,000	10,000	0	100.0

委託料が増加（アセットマネジメント計画策定、業務継続計画策定）

広沢浄水場更新工事に伴う、施設の一部撤去により固定資産除却費が増加

企業債の新規借入に伴い、利息が増加（広沢浄水場更新工事）

滝野浄水場の導水管を除却する事業費が増加

3-3 予算内訳（資本的收入）

（単位：千円、税込）

科 目	令和4年度 A	令和3年度 B	差引増減 A-B	対前年度比 A/B(%)
資本的收入	619,585	730,687	△ 111,102	84.8
企業債	540,800	594,400	△ 53,600	91.0
企 業 債	540,800	594,400	△ 53,600	91.0
負担金	4,610	23,090	△ 18,480	20.0
負 担 金	4,610	23,090	△ 18,480	20.0
出資金	5,840	13,770	△ 7,930	42.4
他 会 計 出 資 金	5,840	13,770	△ 7,930	42.4
補助金	68,335	99,427	△ 31,092	68.7
国 庫 補 助 金	68,335	99,427	△ 31,092	68.7

実施事業に応じて負担金が減少（消火栓
設置事業、施設整備負担金を計上）

継続実施事業の事業費が減少したことによ
るもの（広沢浄水場更新工事）

3-4 予算内訳（資本的支出）

（単位：千円、税込）

科 目	令和4年度 A	令和3年度 B	差引増減 A-B	対前年度比 A/B(%)
資本的支出	1,552,767	1,931,476	△ 378,709	80.4
建設改良費	1,512,675	1,892,289	△ 379,614	79.9
浄水設備費	931,665	1,488,755	△ 557,090	62.6
配水設備費	502,628	402,241	100,387	125.0
営業設備費	1,382	1,293	89	106.9
固定資産購入費	77,000	0	77,000	皆増
企業債償還金	30,092	29,187	905	103.1
企業債償還金	30,092	29,187	905	103.1
予備費	10,000	10,000	0	100.0
予備費	10,000	10,000	0	100.0

継続実施事業の事業費が減少したことによるもの（広沢浄水場更新工事）

基幹管路耐震化及び老朽管を更新する建設改良工事が増加

電算システム更新のため、固定資産（備品）購入費が増加

4-1 主要な事業（安全）

□ 浄水水質管理の強化 □

■ 「水安全計画」の策定 実施額 12,100千円

水源から蛇口までのあらゆる過程において、水道水の水質に悪影響を及ぼす可能性のあるすべての要因（危害）を分析し、管理対応する方法をあらかじめ定める計画を策定する。

策定による効果

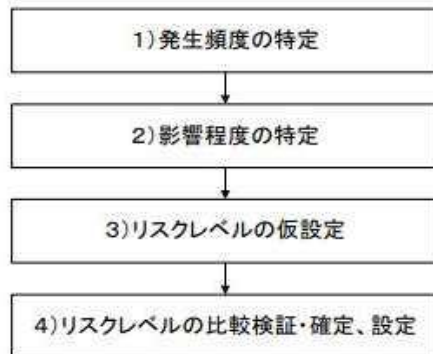
- 1) 安全性の向上
- 2) 維持管理の向上・効率化
- 3) 技術の継承
- 4) 需要者への安全性に関する説明責任
- 5) 一元管理
- 6) 関係者の連携強化

✓より一層安全で安心な
水道水の供給を実現

✓水道システム全体の
維持管理水準の向上

✓水質監視、施設管理、
運転制御等の技術の継承

リスクレベルの設定の手順



リスク解析の例

リスク発生箇所の分類

区分	発生箇所	リスクレベル					合計	割合 (%)
		1	2	3	4	5		
水源	水源	14					14	14.3
浄水場内	浄水	20	2				22	22.4
	薬品	1		4	2		10	10.2
場外施設	電気計装設備	3	2	3	1		9	9.2
	配水	3	6	4	4	5	22	22.4
	給水	2	7	1	5	6	21	21.4
	全体	43	20	12	12	11	98	100
	割合 (%)	43.9	20.4	12.2	12.2	11.2	100	-

リスクレベルの高
い事象がどこに存
在するか等を整
理するとわかりや
すくなります

4-2 主要な事業（強靱）

□ 統合浄水場整備 □

■ 統合浄水場整備（平成27年度～令和7年度） 令和4年度実施額 918,135千円

老朽化した広沢浄水場及び滝野浄水場を統合浄水場として更新することにより、施設の耐震化及び浄水機能の効率化を図る。

工事概要（令和4年度）

○ 広沢浄水場更新

- ・ 機械設備工事（浄水池）
- ・ 電気設備工事（浄水池、中央監視装置）
- ・ 建築工事及び既施設除却工事（浄水池、管理棟）
- ・ 場内配管工事 ほか

○ 滝野配水池

- ・ 電磁流量弁及び塩素注入施設設置
詳細設計業務委託

広沢浄水場（浄水設備棟）



滝野配水池



4-3 主要な事業（強靱）

□ 基幹管路耐震化事業・上水道事業業務継続計画策定 □

■ 基幹管路耐震化（令和2年度～令和10年度） 令和4年度実施額 352,550千円

震災時においても安定して水道水を供給できるよう、加東市基幹管路耐震化計画に基づき、基幹管路（導水管、送水管、配水本管）の耐震化を進めていく。（4年度末の目標耐震化率は40.7%以上）

工事概要(令和4年度)

○ 基幹管路（配水管）の耐震化 水道ビジョンに掲げる目標 R10年度末の耐震化率67.3%

- ・ 布設替工事（高区、中区配水区域）
- ・ 施工監理業務委託（高区、中区配水区域）

耐震管布設状況



耐震管布設状況



■ 上水道事業業務継続計画策定 実施額 13,200千円

緊急時の速やかな上水道事業継続のため、上下水道一体となった事業継続計画を策定する。地震・風水害のみならず、新型コロナウイルスのような感染症への対策・テロ対策・事故対策についても盛り込むものとする。

4-4 主要な事業（持続）

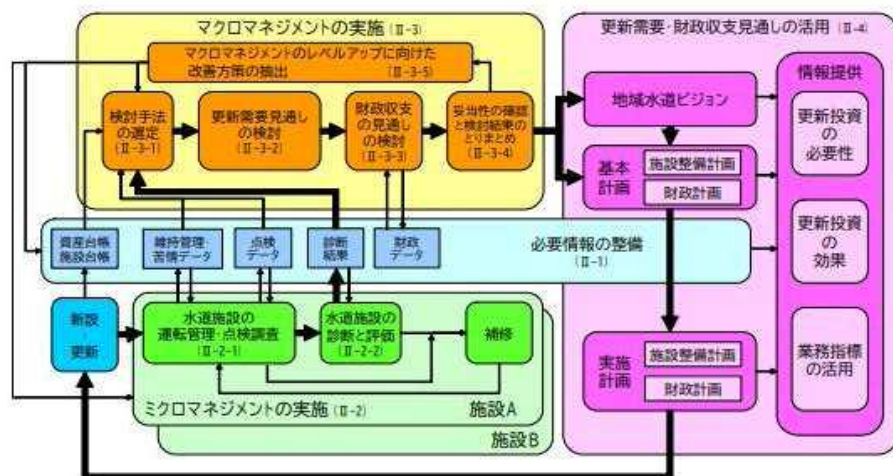
□ アセットマネジメント □

■ アセットマネジメント計画策定（令和2年度～令和6年度）令和4年度実施額 49,500千円

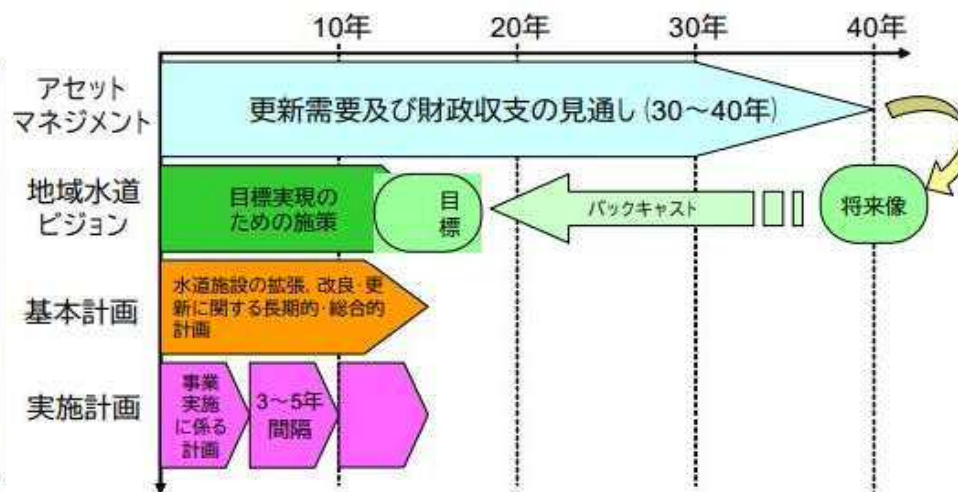
中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に水道施設を管理運営するため、アセットマネジメントの実施計画を作成し、計画的に事業を進めていく。

実施内容（令和4年度）

- ・施設耐震化更新計画の作成
- ・管路耐震化更新計画の作成
- ・マクロマネジメント（タイプ4D）投資目安の設定



アセットマネジメントとの構成と実践サイクル



アセットマネジメントと地域水道ビジョン等の各種計画との関係図

4-5 主要な事業（持続）

□ 事業運営の効率化 □

14,000千円（たな卸資産購入限度額）

■ 広域連携事業（水道メーターの共同購入）

- ・ 北播磨地域3市1町
（加東市、西脇市、加西市、多可町）

□ 技術の継承 □

885千円

■ 技術・知識を有する人材の育成

- ・ 各種研修への参加

□ 需要者サービスの向上 □

■ 水道広報（水道週間）

- ・ 水道パネル展
- ・ 学校・園の水道設備点検
- ・ お客さまアンケートの実施

■ 検針票裏面の有効活用

- ・ 加東市上下水道工事業組合の広告掲載

100千円（税抜）の収益



令和 4 年度
下水道事業会計当初予算の概要

目 次

1	業務の予定量	13P
2 -1	予算の概要（収益的収支）	14P
2 -2	予算の概要（資本的収支）	15P
3 -1	予算の内訳（収益的収入）	16P
3 -2	予算の内訳（収益的支出）	17P
3 -3	予算の内訳（資本的収入）	18P
3 -4	予算の内訳（資本的支出）	19P
4 -1	主要な事業（持続）	20P
4 -2	主要な事業（持続）	21P
4 -3	主要な事業（持続）	22P
4 -4	主要な事業（持続）	23P
4 -5	主要な事業（リスクの抑制）	24P

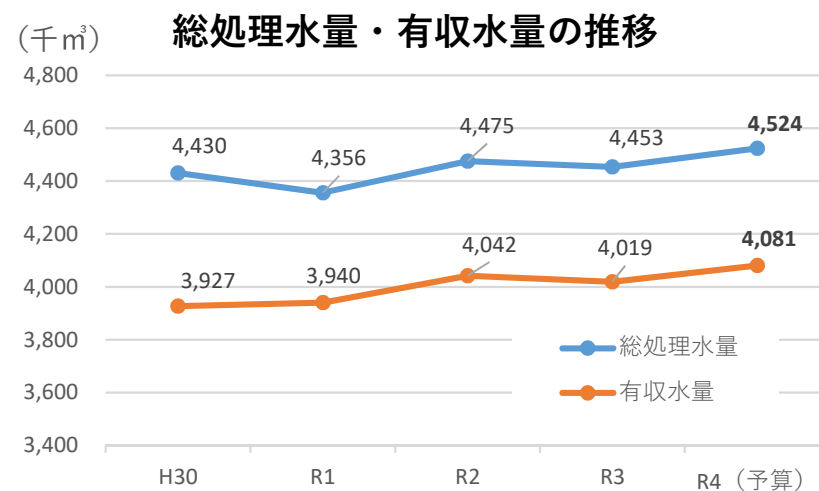
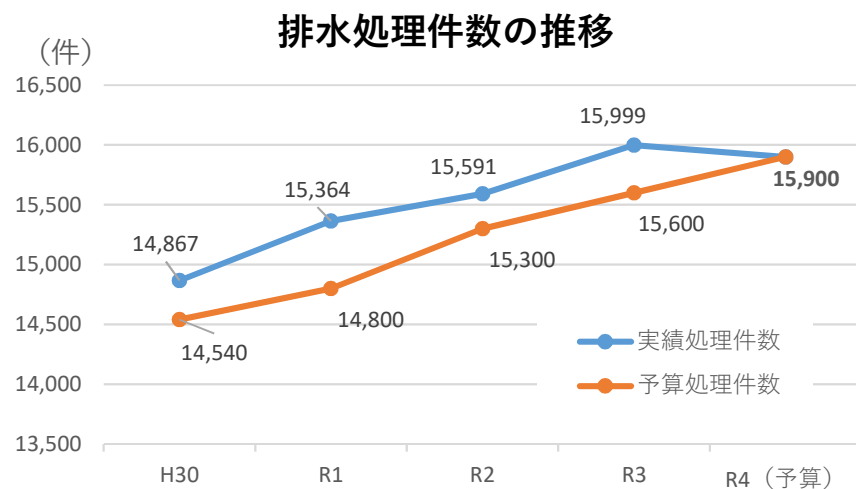
1 業務の予定量

区 分	令和4年度 A（予定）	令和3年度 B（実績）	対前年度比	
			A-B	A/B(%)
排水処理件数	15,900件	15,999件	△ 99件	99.4%
総 処 理 水 量	4,524,132m ³	4,453,443m ³	70,689m ³	101.6%
有 収 水 量	4,080,767m ³	4,019,020m ³	61,747m ³	101.5%
有 収 率	90.2%	90.2%	0	0

※R4年度の有収水量は前年度有収率で算出

排水処理件数は、前年度実績と比べて、99件減の15,900件を予定しています。

昨年12月から本市公共下水道の利用を開始した北播衛生事務組合し尿処理施設などの下水流入量の増加が見込まれるため、総処理水量・有収水量は増加を予定しています。

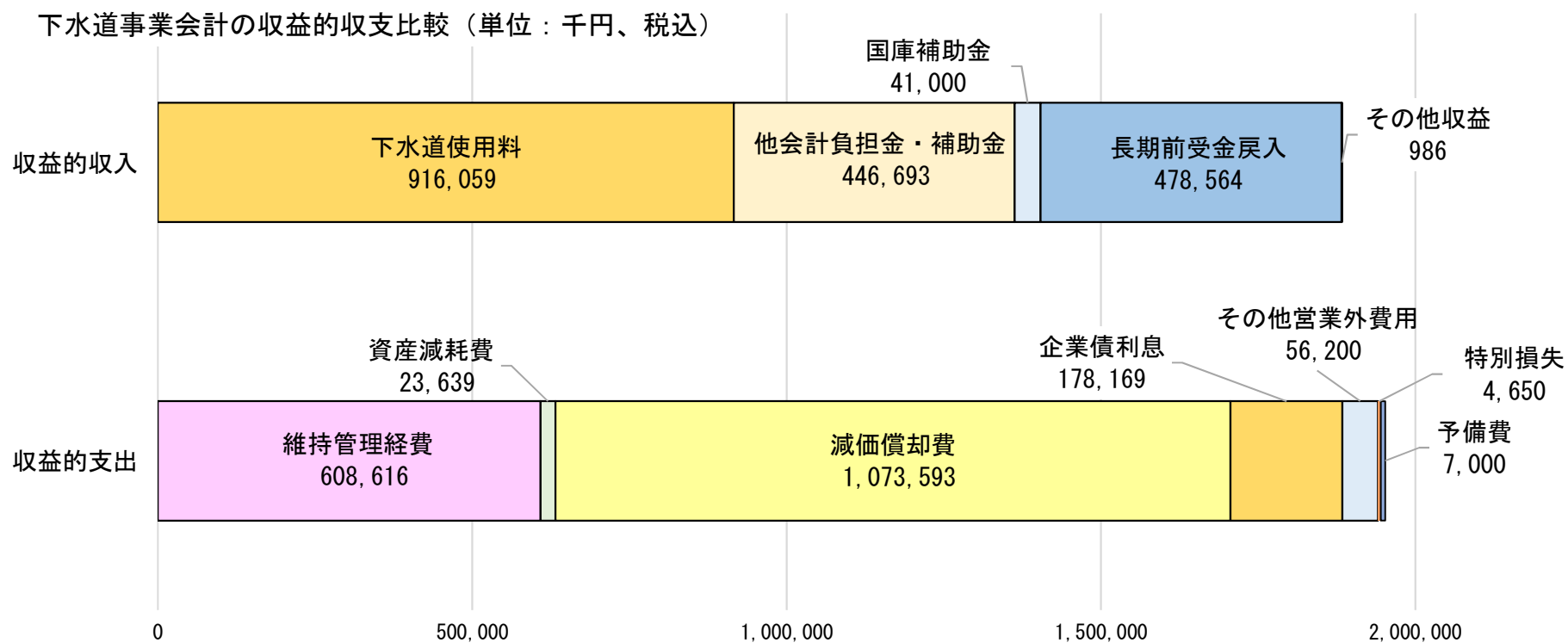


2-1 予算の概要（収益的収支）

排水を処理するための予算（収益的収支）

■収入 18億8,330万2,000円（大部分がお客さまからの下水道使用料収入です。）

■支出 19億5,186万7,000円（人件費、負担金、修繕費や委託料などの維持管理経費と減価償却費や支払利息などです。）



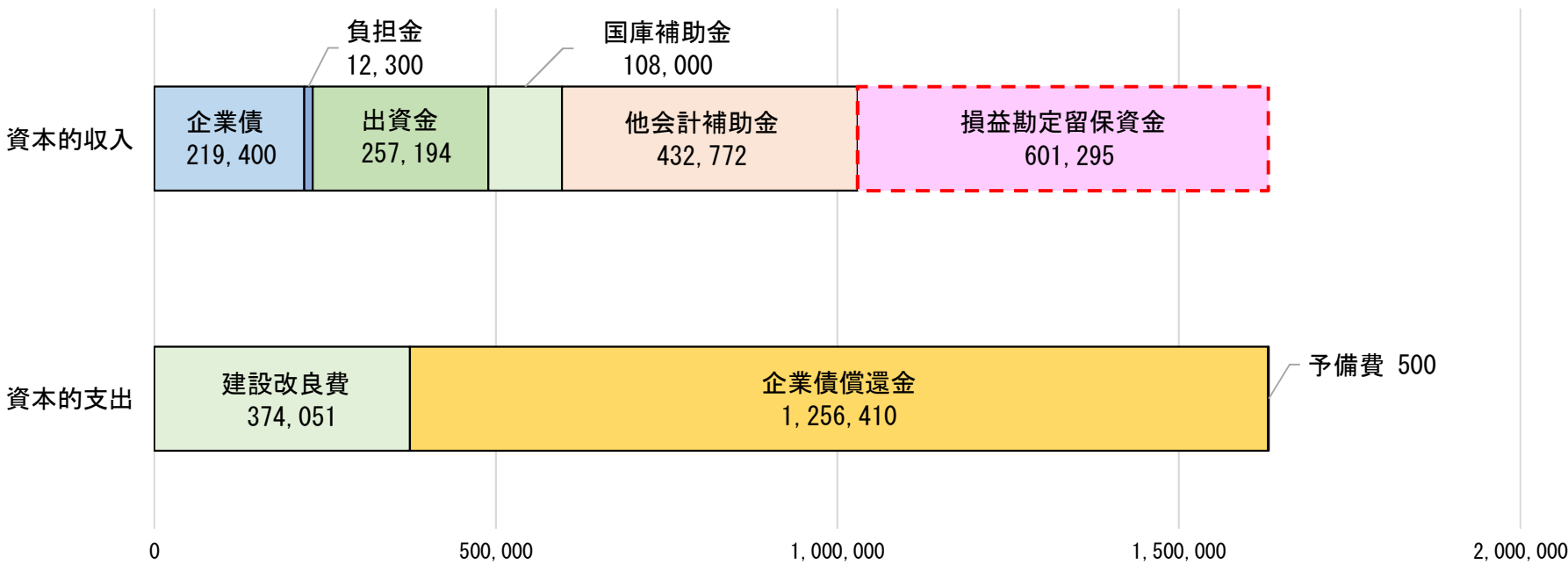
2-2 予算の概要（資本的収支）

排水処理施設をつくるための予算（資本的収支）

■収入 10億2,966万6,000円（企業債借入金及び国からの補助金などです。）

■支出 16億3,096万1,000円（建設改良費及び企業債借入金の返済などです。）

下水道事業会計の資本的収支比較（単位：千円、税込）



※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、損益勘定留保資金で補てんします。

3-1 予算内訳（収益的收入）

（単位：千円、税込）

科 目	令和4年度 A	令和3年度 B	差引増減 A-B	対前年度比 A/B (%)
下水道事業収益	1,883,302	1,974,697	△ 91,395	95.4
営業収益	993,604	967,382	26,222	102.7
下水道使用料	916,059	881,702	34,357	103.9
他会計負担金	70,224	70,653	△ 429	99.4
他会計補助金	6,371	13,913	△ 7,542	45.8
その他営業収益	950	1,114	△ 164	85.3
営業外収益	889,677	1,007,294	△ 117,617	88.3
他会計補助金	370,098	471,138	△ 101,040	78.6
国庫補助金	41,000	19,000	22,000	215.8
長期前受金戻入	478,564	517,141	△ 38,577	92.5
雑収益	15	15	0	100.0
特別利益	21	21	0	100.0
過年度損益修正益	20	20	0	100.0
その他特別利益	1	1	0	100.0

北播衛生事務組合し尿処理施設の下水流入などで下水道使用料が増加

継続実施事業の事業費が減少したことにより、コミュニティ・プラント事業に係る基準外繰入金が減少（下水処理場統合整備事業）

事業執行見込みにより、総務省繰出基準に基づく一般会計繰入金が減少

繰越事業分を含む国庫補助金の増加（ストックマネジメント計画策定）

3-2 予算内訳（収益的支出）

（単位：千円、税込）

科 目	令和4年度 A	令和3年度 B	差引増減 A-B	対前年度比 A/B (%)
下水道事業費用	1,951,867	2,003,130	△ 51,263	97.4
営業費用	1,705,848	1,741,029	△ 35,181	98.0
管 渠 費	29,255	33,304	△ 4,049	87.8
ポ ン プ 場 費	48,530	51,134	△ 2,604	94.9
処 理 場 費	282,249	297,460	△ 15,211	94.9
雨 水 処 理 費	13,556	13,507	49	100.4
業 務 費	61,525	56,211	5,314	109.5
総 係 費	173,501	123,237	50,264	140.8
減 価 償 却 費	1,073,593	1,063,406	10,187	101.0
資 産 減 耗 費	23,639	102,770	△ 79,131	23.0
営業外費用	234,369	248,651	△ 14,282	94.3
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	178,169	192,851	△ 14,682	92.4
雑 支 出	900	500	400	180.0
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	55,300	55,300	0	100.0
特別損失	4,650	6,450	△ 1,800	72.1
過 年 度 損 益 修 正 損	4,650	3,150	1,500	147.6
そ の 他 特 別 損 失	0	3,300	△ 3,300	皆減
予備費	7,000	7,000	0	100.0
予 備 費	7,000	7,000	0	100.0

管渠費は修繕費、ポンプ場費と処理場費は、下水処理場施設の統合に伴い、動力費などの維持管理経費が減少

委託料が増加
（計画策定支援業務など）

下水処理場統合整備の事業進捗に伴い、固定資産除却額は累計で増加していくが、対前年度比では減少

3-3 予算内訳（資本的收入）

（単位：千円、税込）

科 目	令和4年度 A	令和3年度 B	差引増減 A－B	対前年度比 A/B（%）
資本的收入	1,029,666	1,072,923	△ 43,257	96.0
企業債	219,400	242,800	△ 23,400	90.4
企 業 債	219,400	242,800	△ 23,400	90.4
負担金	12,300	10,264	2,036	119.8
受 益 者 負 担 金	12,300	10,264	2,036	119.8
出資金	257,194	255,031	2,163	100.8
他 会 計 出 資 金	257,194	255,031	2,163	100.8
補助金	540,772	564,828	△ 24,056	95.7
他 会 計 補 助 金	432,772	415,128	17,644	104.3
国 庫 補 助 金	108,000	149,700	△ 41,700	72.1

継続実施事業の事業費が減少したことによるもの（下水処理場統合整備事業）

3-4 予算内訳（資本的支出）

（単位：千円、税込）

科 目	令和4年度 A	令和3年度 B	差引増減 A－B	対前年度比 A/B（%）
資本的支出	1,630,961	1,693,525	△ 62,564	96.3
建設改良費	374,051	444,516	△ 70,465	84.1
下水道事業費	374,051	444,516	△ 70,465	84.1
企業債償還金	1,256,410	1,248,509	7,901	100.6
企業債償還金	1,256,410	1,248,509	7,901	100.6
予備費	500	500	0	100.0
予備費	500	500	0	100.0

下水処理場統合整備事業などの建設改良工事が減少

4-1 主要な事業（持続）

□ 不明水対策事業 □

■ 不明水対策 実施額 12,870千円

処理場統合に伴い、接続前に不明水発生箇所を特定し、対策を講じることで、管渠及び処理施設にかかる負担を低減させる。

工事概要

- ・ 管渠施設止水工事（家原地区ほか） 11箇所 3,850千円
- ・ マンホール蓋取替（上中地区） 6箇所 2,970千円
- ・ 管渠施設不明水調査（上福田中部地区） L=1.7km 6,050千円



管渠施設止水工事 箇所図
(家原地区)

4-2 主要な事業（持続）

□ 下水処理場統合整備事業 □

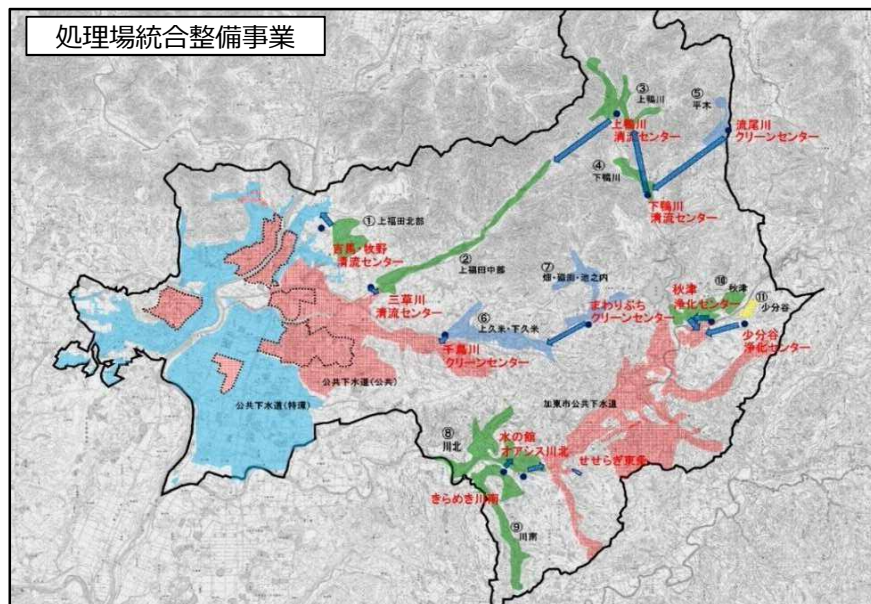
■ 下水処理場統合整備（令和元年度～令和9年度） 令和4年度実施額 204,270千円

加東市下水道ビジョン及び加東市下水道事業経営戦略に基づき、生活排水処理場の統廃合を行う。令和9年度完了予定。

工事概要（令和4年度）

- ・川南地区（きらめき川南）接続工事、汚泥処理
- ・上福田北部（吉馬・牧野清流センター）詳細設計
- ・畑・廻渚・池之内地区（まわりぶちクリーンセンター）汚泥処理、撤去工事、舗装復旧工事

位置図



現況写真（きらめき川南）



4-3 主要な事業（持続）

□ スtockマネジメント（計画策定：令和3年度～令和4年度） □

■ 公共下水道ストックマネジメント計画策定 令和4年度実施額 121,330千円

加東市が管理する下水道施設について長期的な視点で点検、調査計画及び修繕、改築計画を策定し、ポンプ場、終末処理場を対象に計画的かつ効率的に管理する。

実施内容（令和4年度）

- 下水道施設（ポンプ場、終末処理場）
 - ・ 点検、調査計画策定

せせらぎ東条



東条中継ポンプ場



4-4 主要な事業（持続）

□ 下水道の理解度向上 □

200千円

■下水道広報（下水道の日）

- ・ 下水道の仕組みと役割のパネル展示
- ・ デザインマンホールの展示
- ・ 啓発グッズの配布
- ・ お客さまアンケートの実施



□ 技術の継承 □

1,642千円

■技術・知識を有する人材の育成

- ・ 各種研修への参加



令和3年度実施 下水道ポスター展

4-5 主要な事業（リスクの抑制）

□ 浸水対策事業・下水道事業業務継続計画策定 □

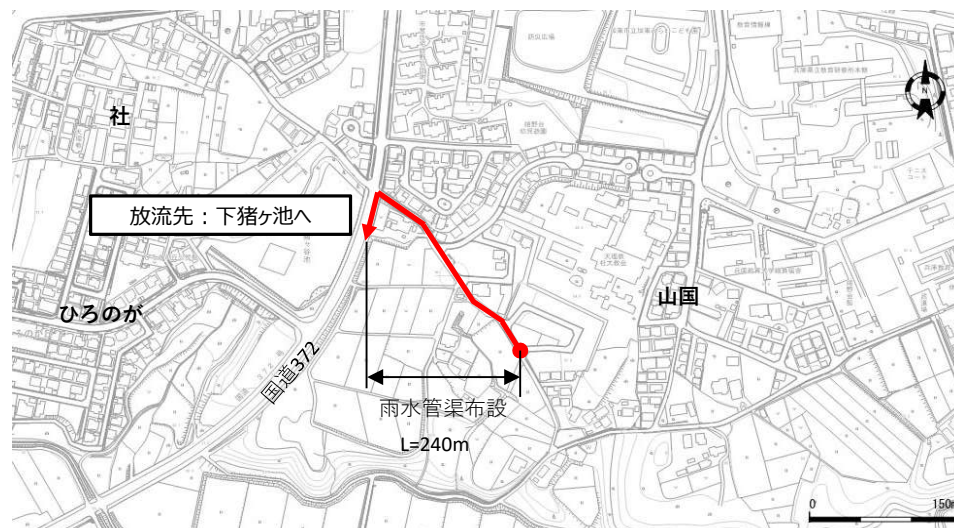
■ 浸水対策 雨水管渠整備 令和4年度実施額 64,900千円

加東市下水道ビジョン及び加東市流域関連公共下水道事業計画に基づき、浸水対策として、雨水管渠整備を行う。

実施内容（令和4年度）

- 山国地区雨水管渠整備 ※令和3年度は詳細設計業務を実施

平面図



現況写真



■ 下水道事業業務継続計画策定 実施額 13,200千円

緊急時の速やかな下水道事業継続のため、上下水道一体となった事業継続計画を策定する。地震・風水害のみならず、新型コロナウイルスのような感染症への対策・テロ対策・事故対策についても盛り込むものとする。

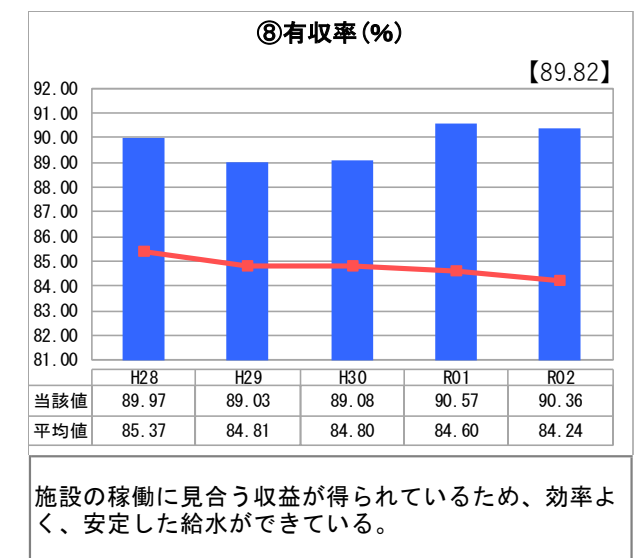
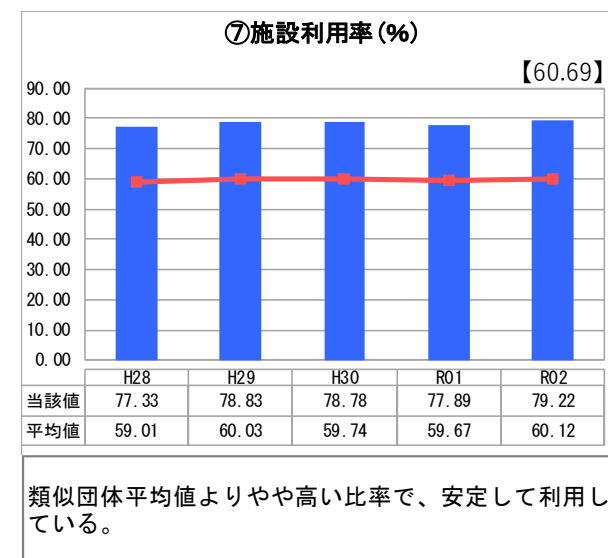
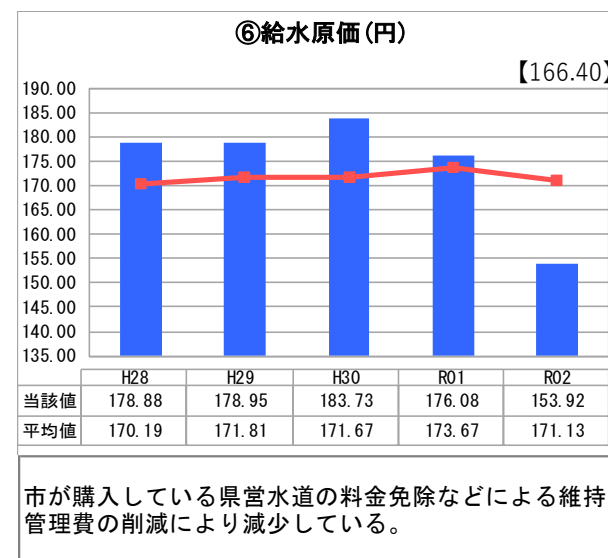
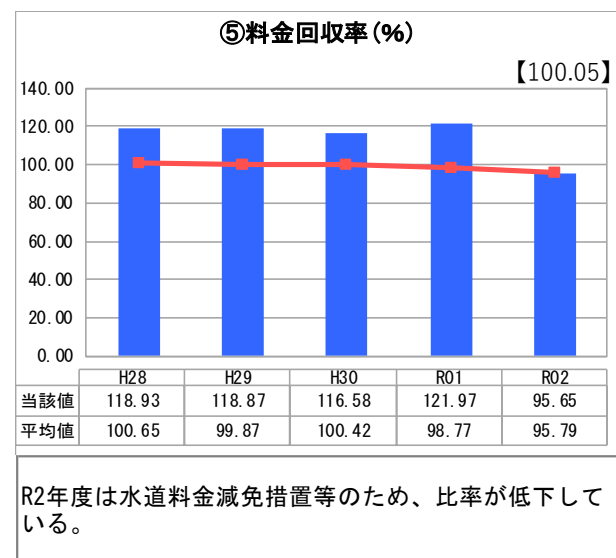
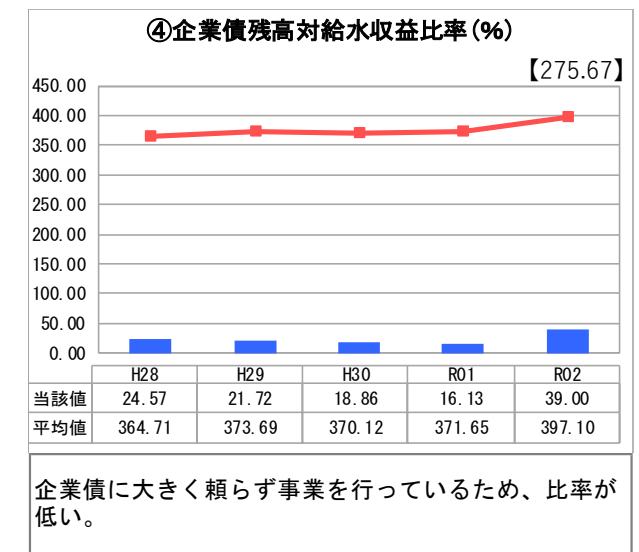
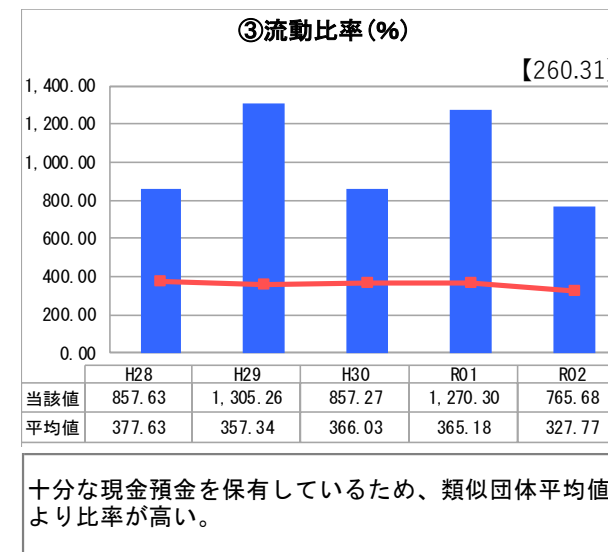
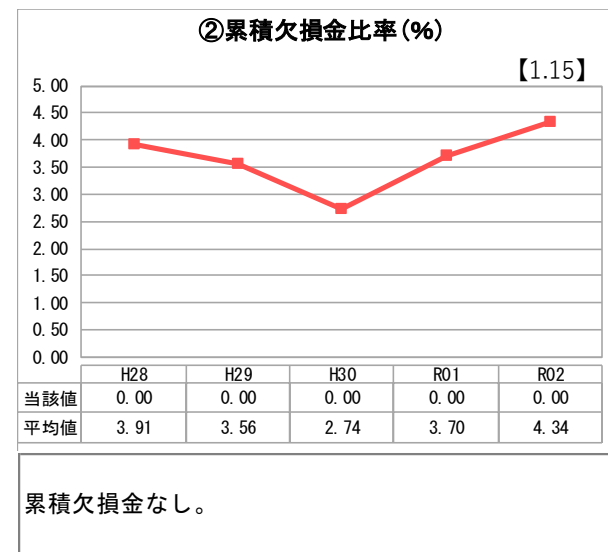
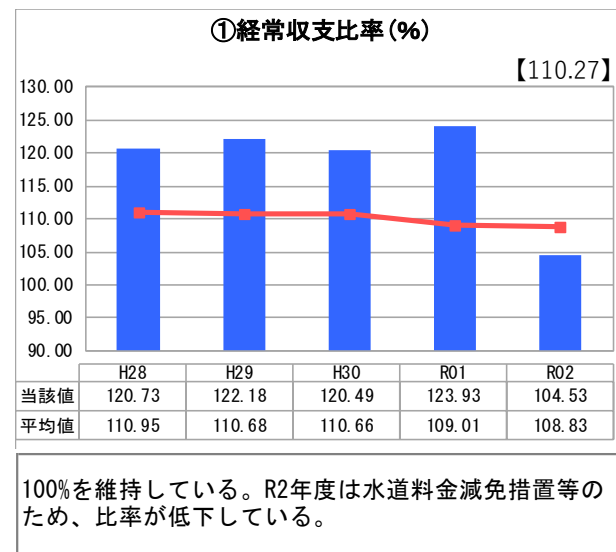
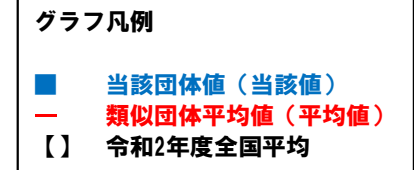
経営比較分析表 (令和2年度決算)

目 次

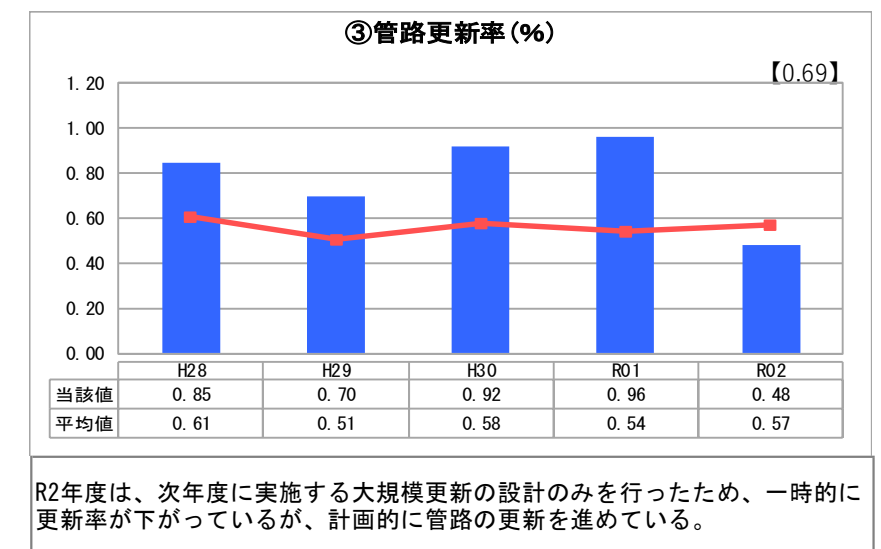
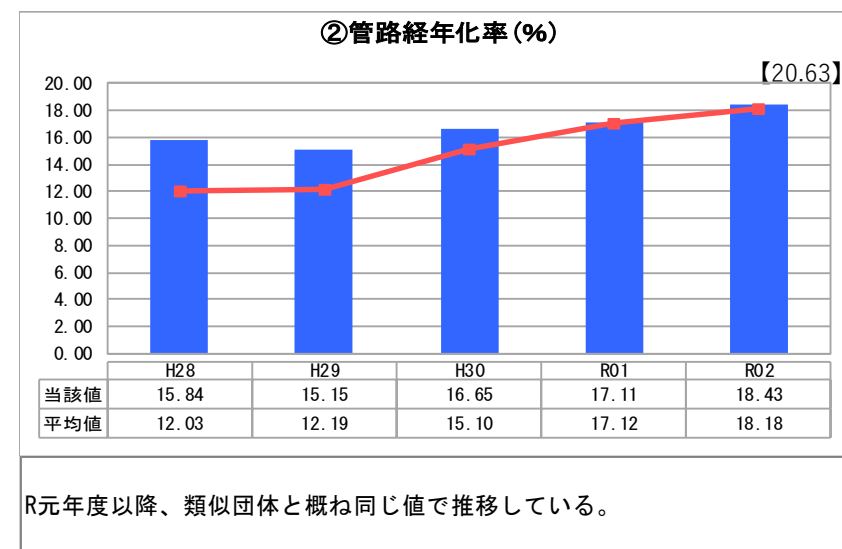
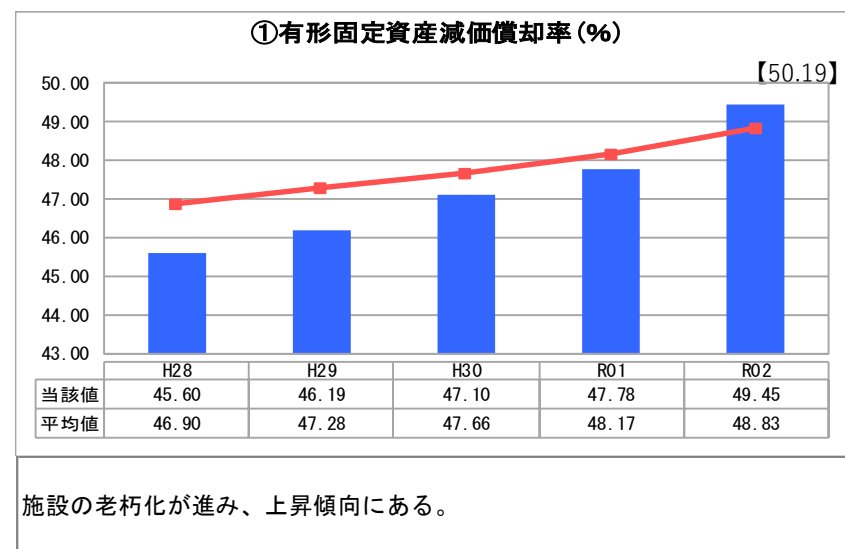
1	水道事業	・・・・・・・・	1P
2 -1	公共下水道事業	・・・・・・・・	2P
-2	特定環境保全公共下水道事業	・・・・・・・・	3P
-3	農業集落排水事業	・・・・・・・・	4P
-4	小規模集合排水処理事業	・・・・・・・・	5P
(参考・近隣他市町との比較)		・・・・・・・・	6P

1 水道事業

(1) 経営の健全性・効率性



(2) 老朽化の状況

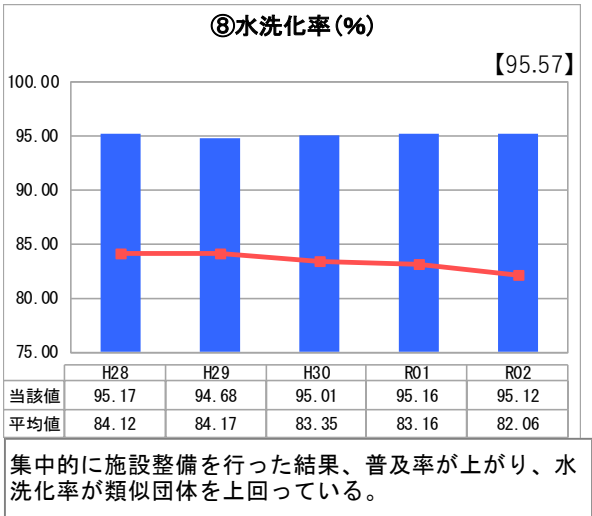
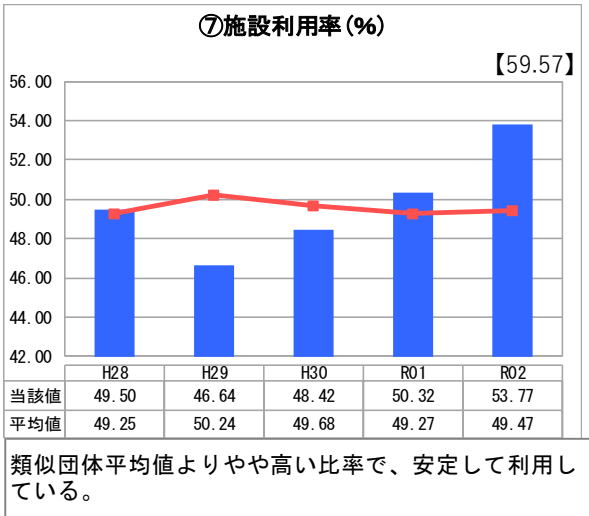
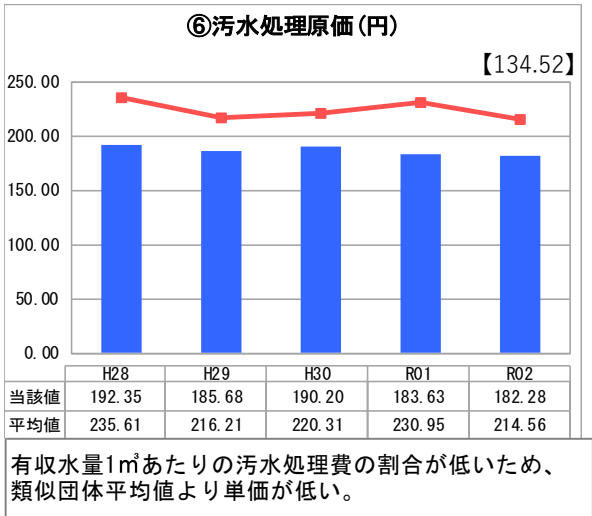
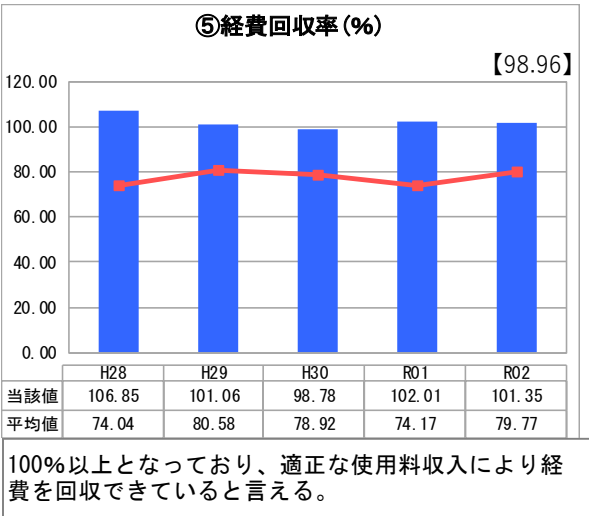
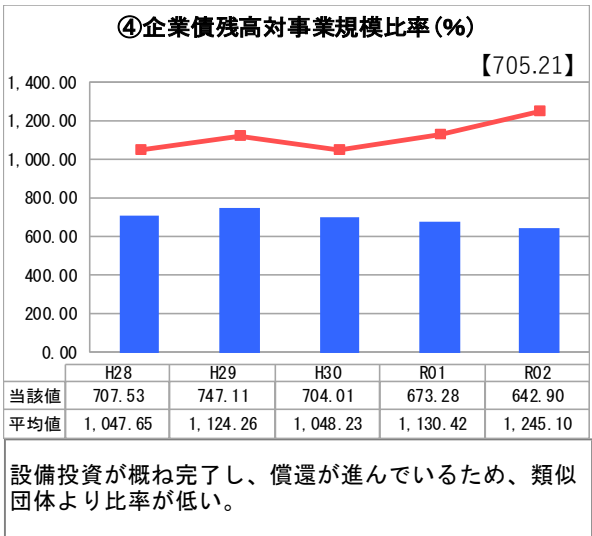
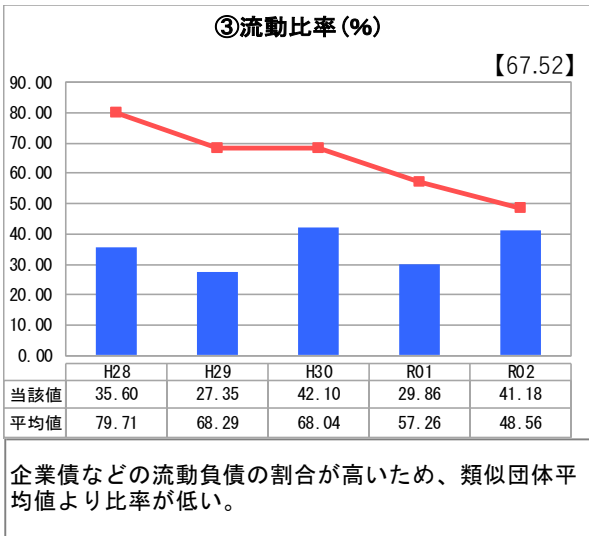
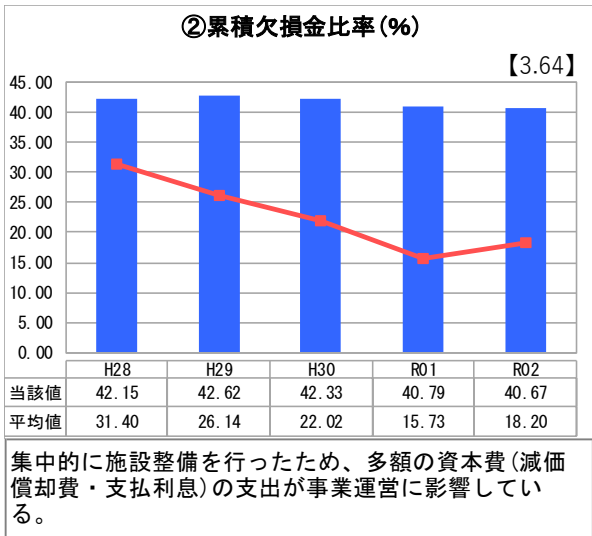
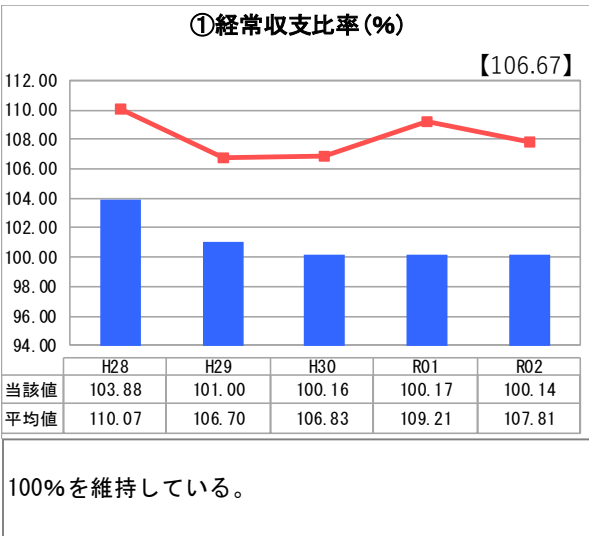


2 - 1 公共下水道事業

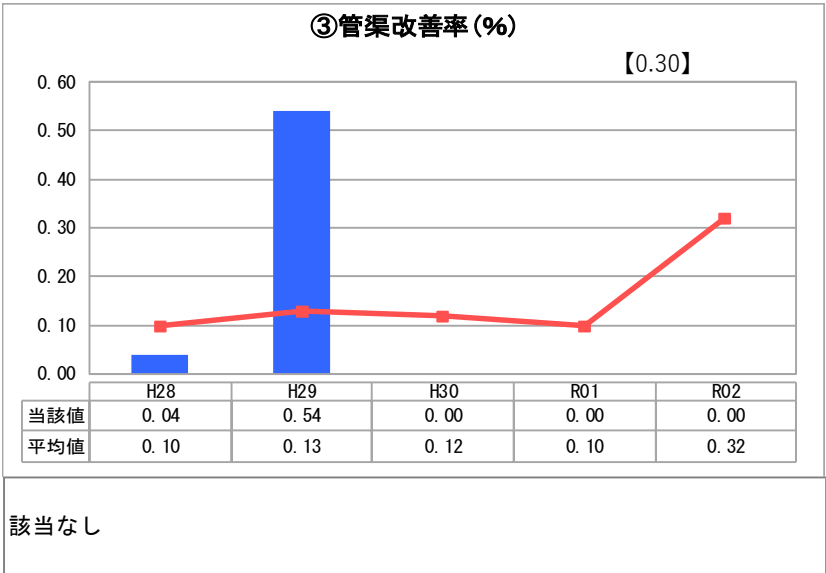
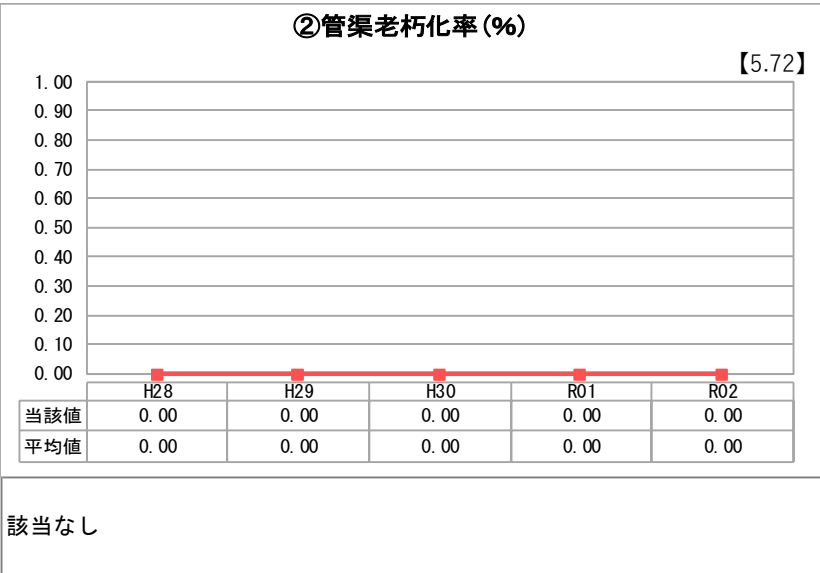
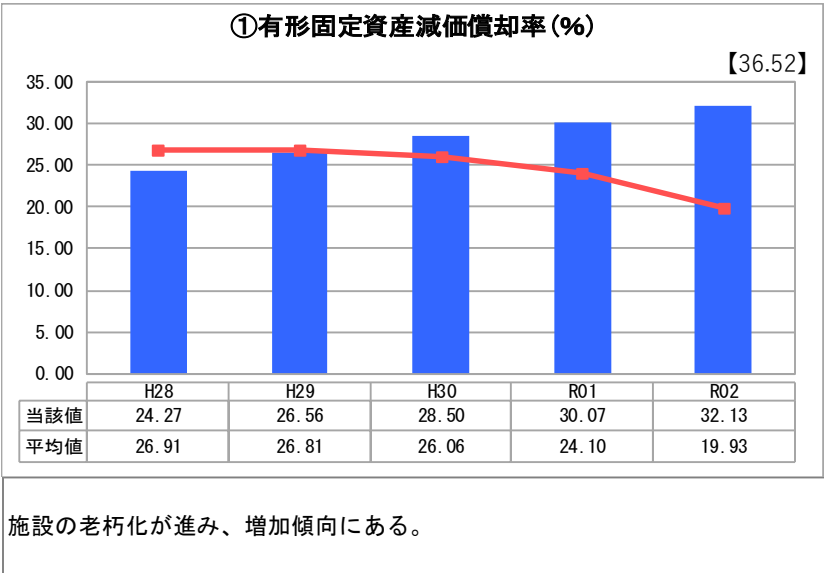
(1) 経営の健全性・効率性

グラフ凡例

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均



(2) 老朽化の状況

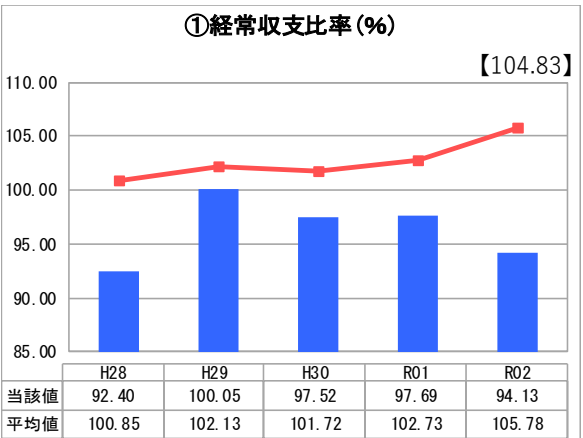


2-2 特定環境保全公共下水道事業

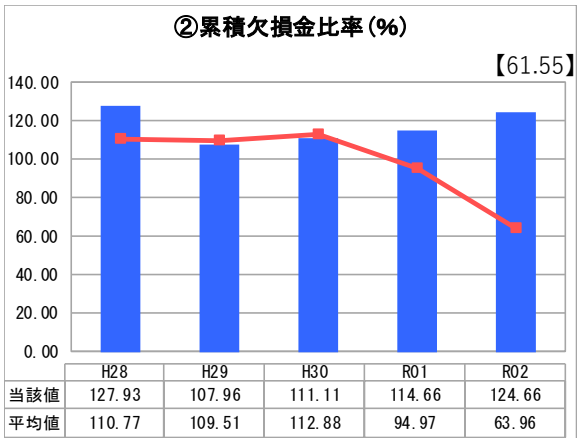
(1) 経営の健全性・効率性

グラフ凡例

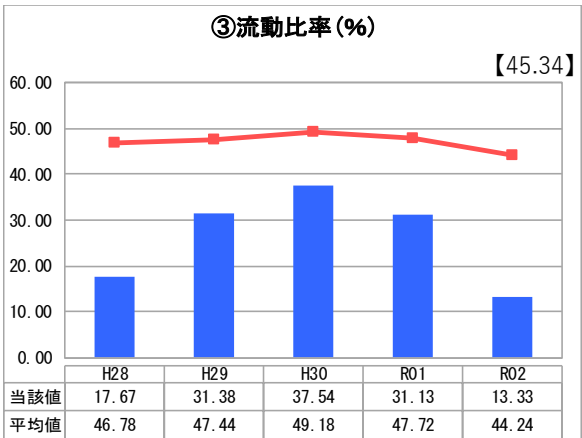
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均



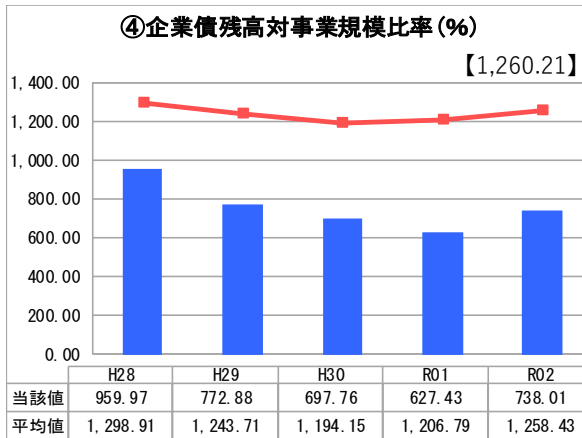
類似団体平均値より経常費用の割合が高いため、比率が低い。



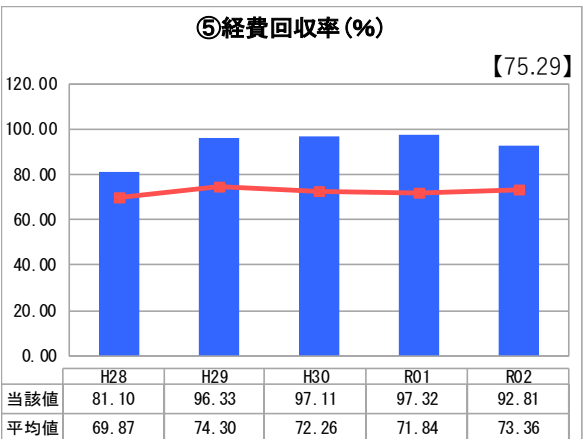
集中的に施設整備を行ったため、多額の資本費(減価償却費・支払利息)の支出が事業運営に影響している。



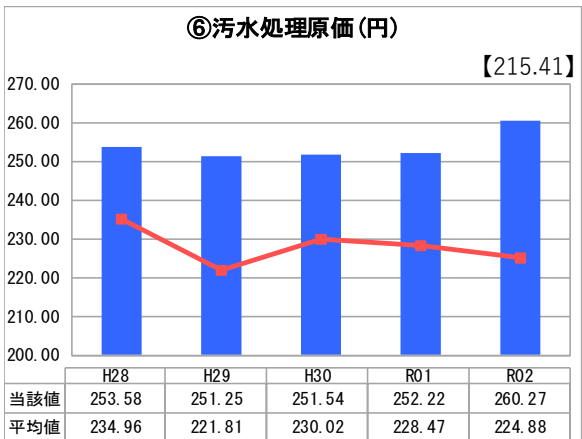
企業債などの流動負債の割合が高いため、類似団体平均値より比率が低い。



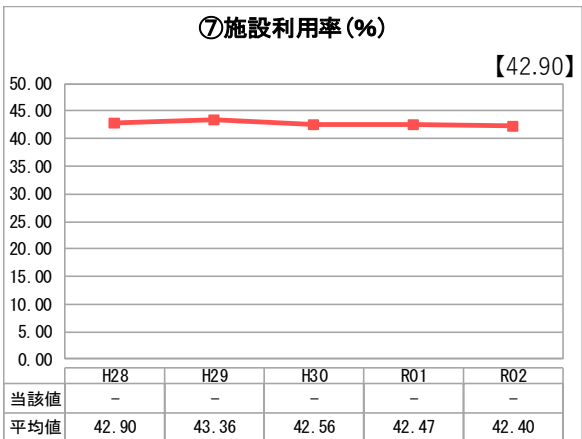
設備投資が概ね完了し、償還が進んでいるため、類似団体より比率が低い。



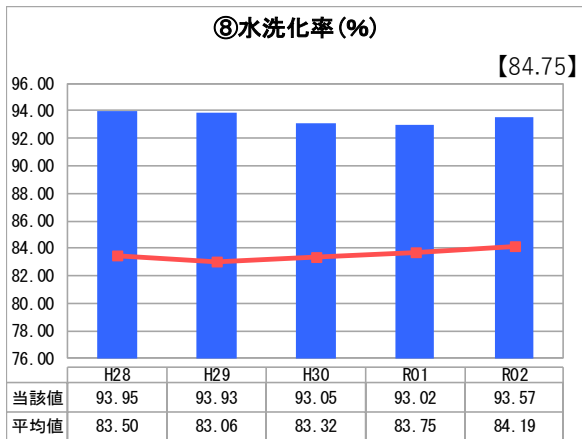
100%以下ではあるが、下水道使用料収入で経費が回収できているため、類似団体平均値より比率が高い。



有収水量1㎡あたりの汚水処理費の割合が高いため、類似団体平均値より単価が高い。

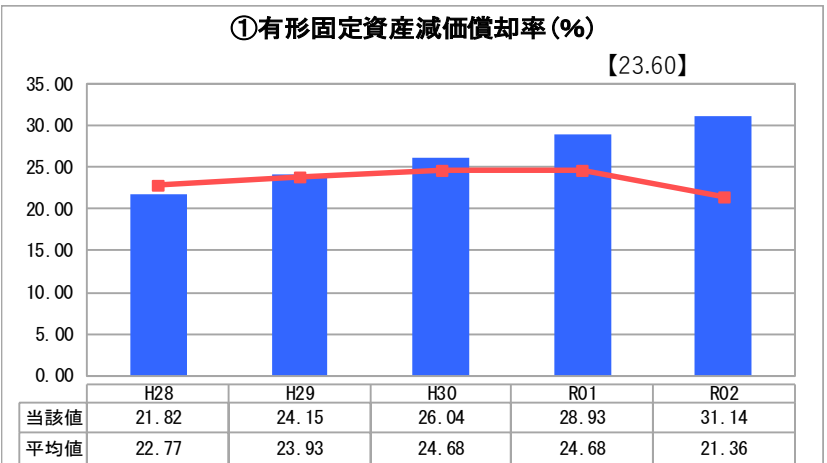


当該事業のための施設を保有していない。

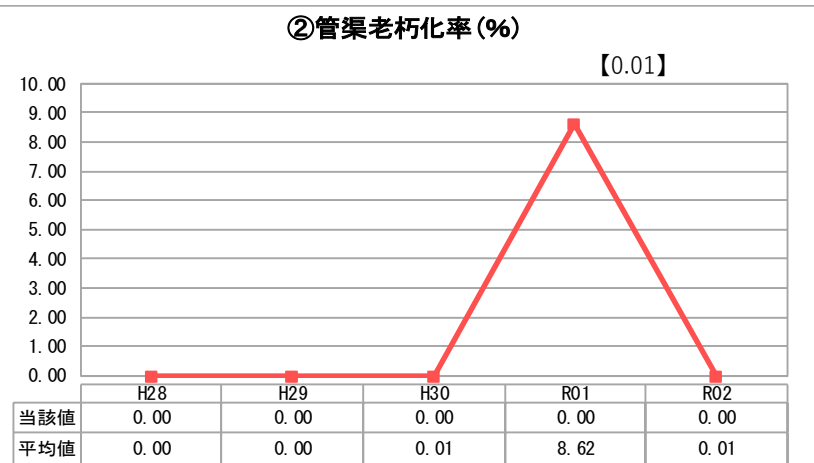


集中的に施設整備を行った結果、普及率が上がり、水洗化率が類似団体を上回っている。

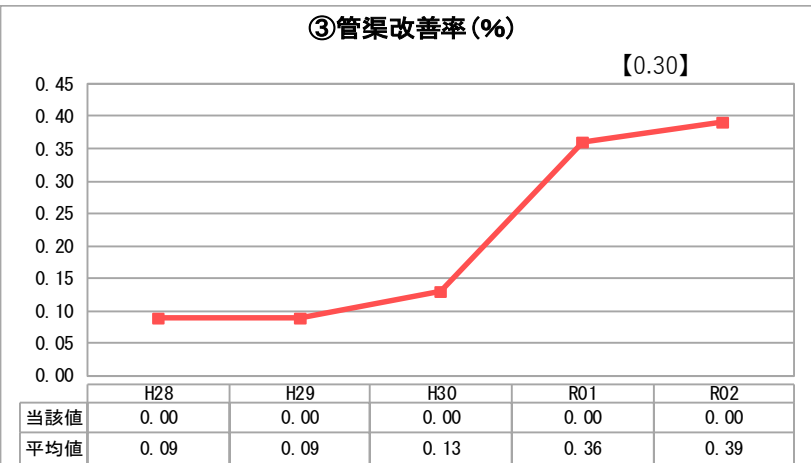
(2) 老朽化の状況



施設の老朽化が進み、増加傾向にある。



該当なし



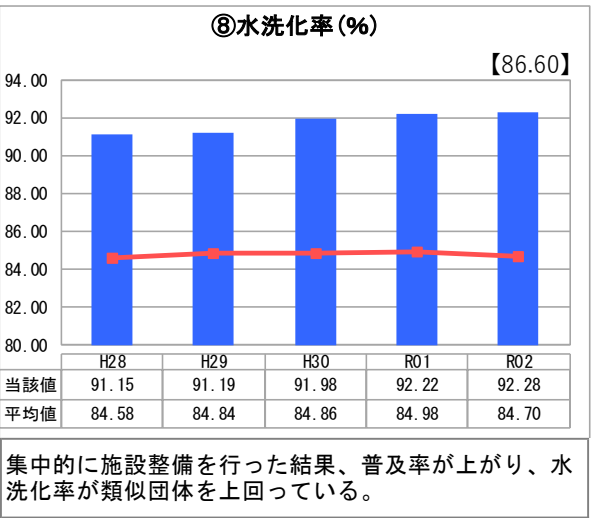
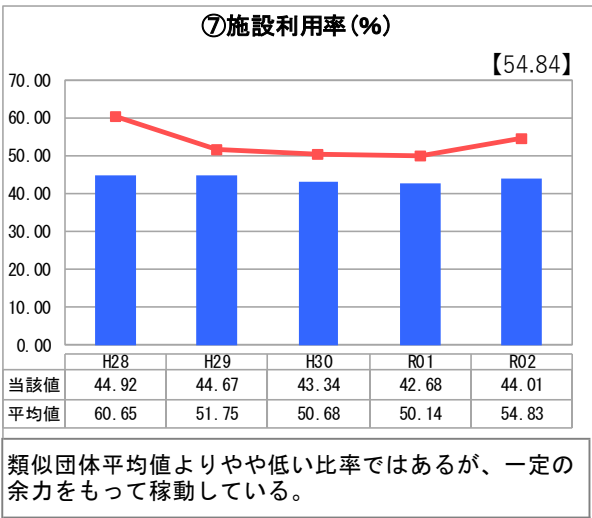
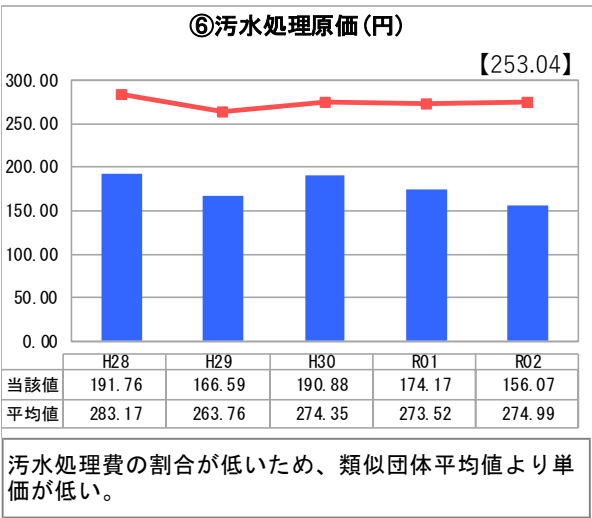
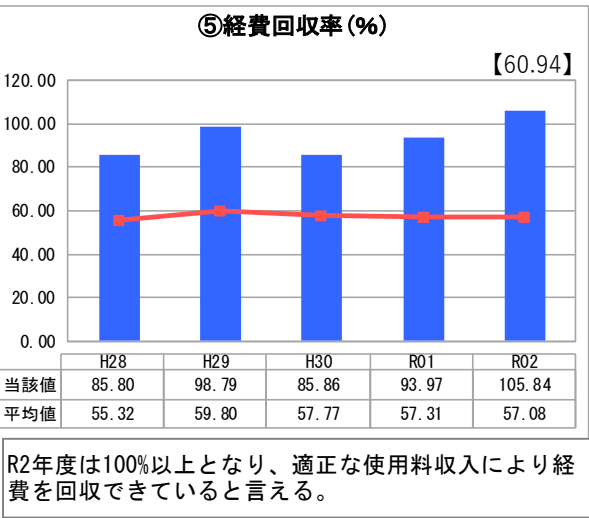
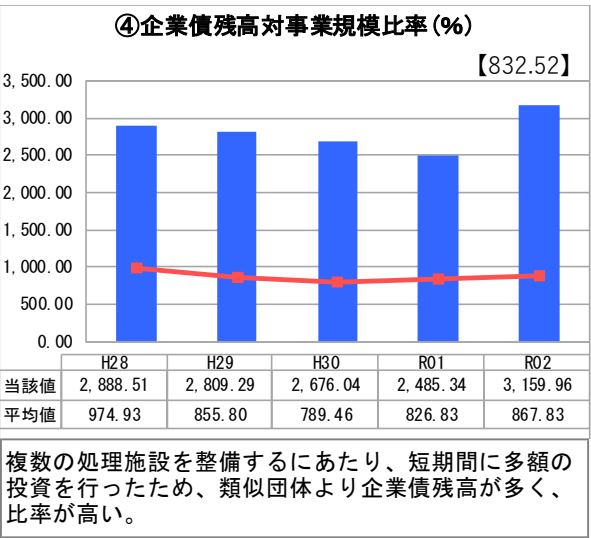
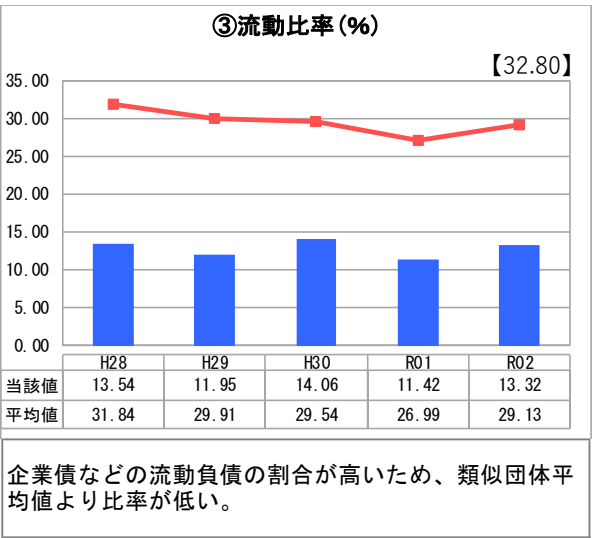
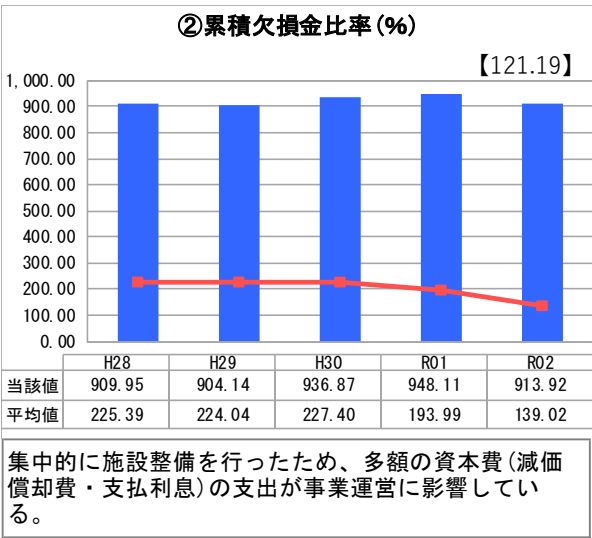
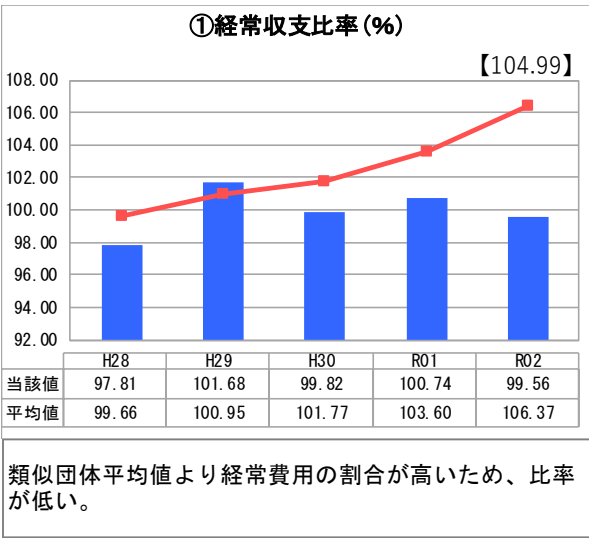
該当なし

2 - 3 農業集落排水事業

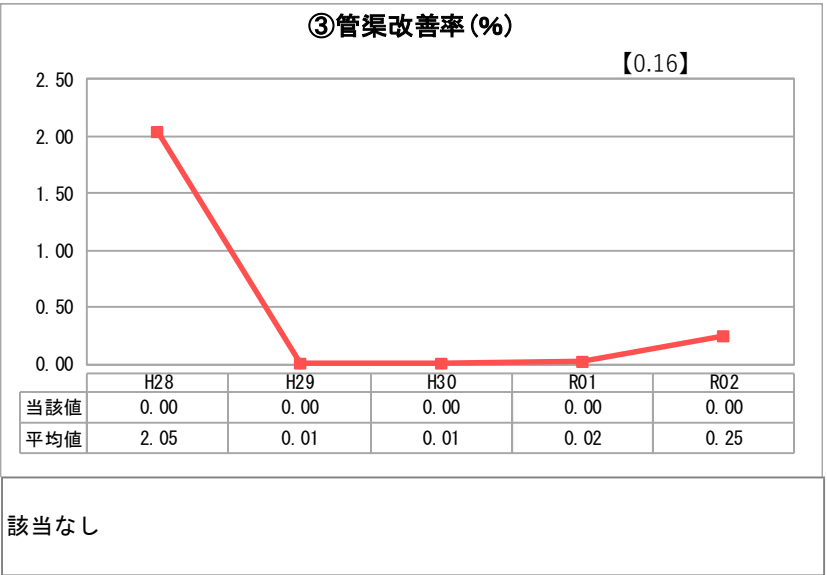
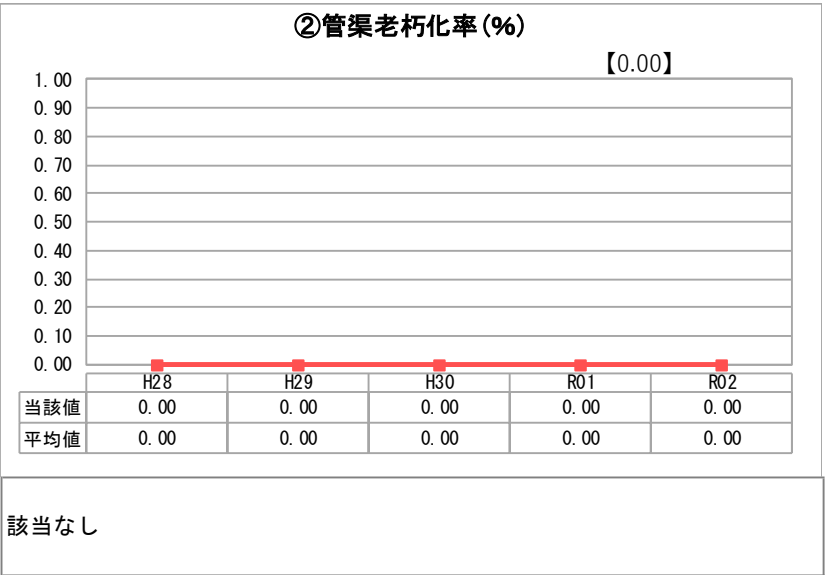
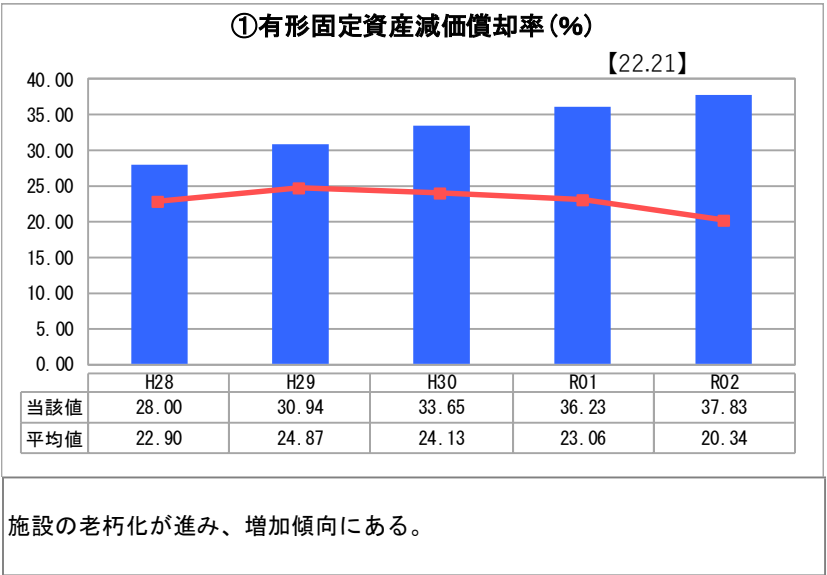
(1) 経営の健全性・効率性

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【 】 令和2年度全国平均



(2) 老朽化の状況



2 - 4 小規模集合排水処理事業

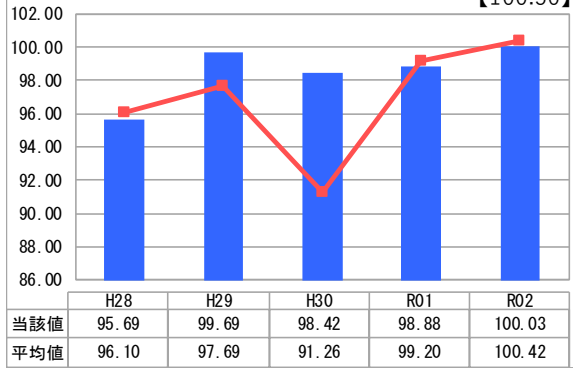
(1) 経営の健全性・効率性

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

①経常収支比率(%)

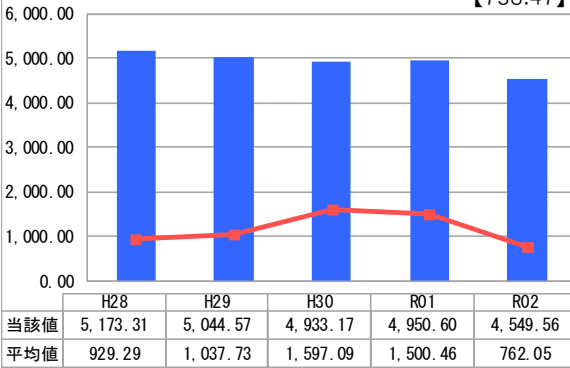
【100.50】



R2年度に100%以上となった。

②累積欠損金比率(%)

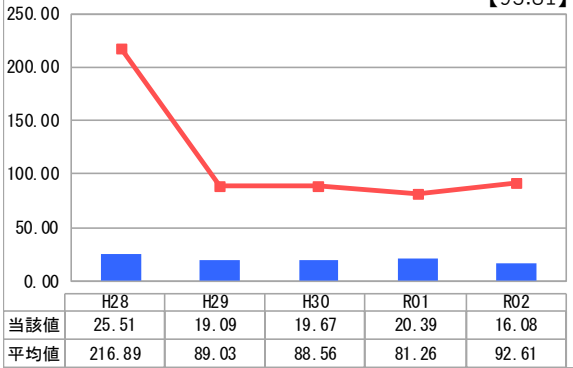
【738.47】



集中的に施設整備を行ったため、多額の資本費(減価償却費・支払利息)の支出が事業運営に影響している。

③流動比率(%)

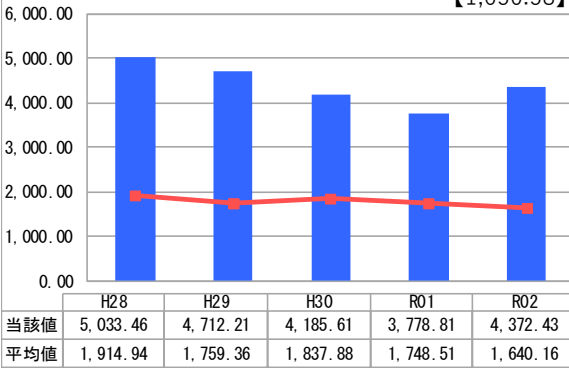
【93.81】



企業債などの流動負債の割合が高いため、類似団体平均値より比率が低い。

④企業債残高対事業規模比率(%)

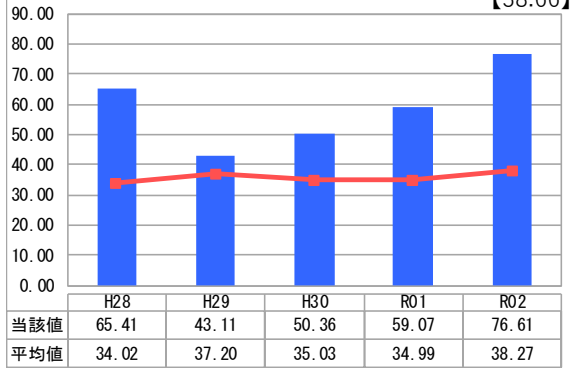
【1,650.58】



事業規模に対し、企業債を財源として多額の投資を行ったため、類似団体より企業債残高が多く、比率が高い。

⑤経費回収率(%)

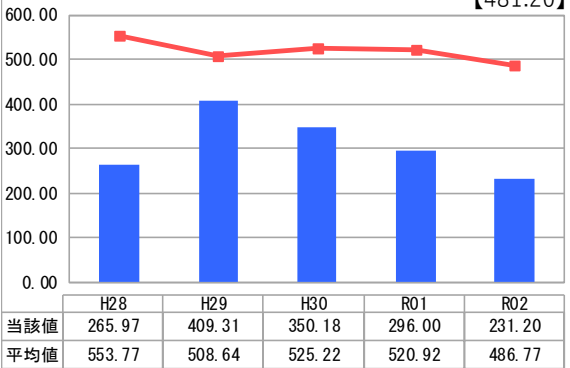
【38.66】



100%には届いていないが、汚水処理原価の抑制に伴い、改善した。

⑥汚水処理原価(円)

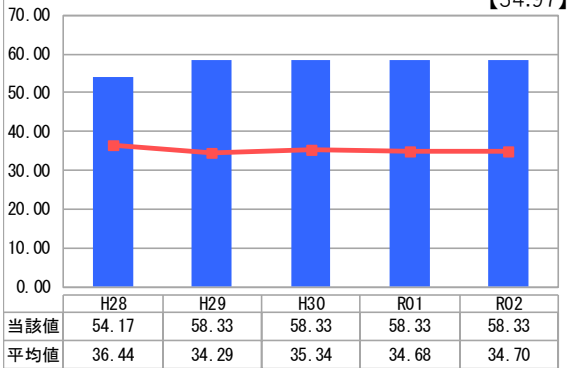
【481.20】



汚水処理費の割合が低いため、類似団体平均値より単価が低い。

⑦施設利用率(%)

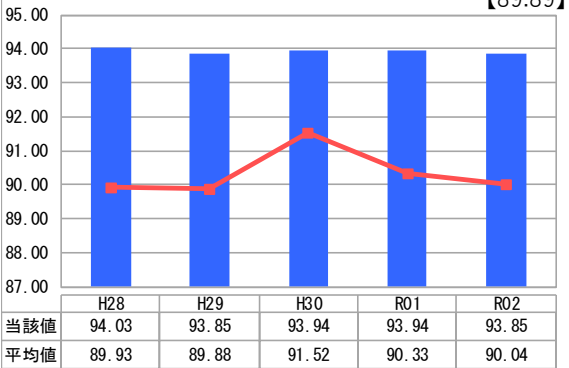
【34.97】



類似団体平均値よりやや高い比率で、一定の余力をもって稼働した。

⑧水洗化率(%)

【89.89】

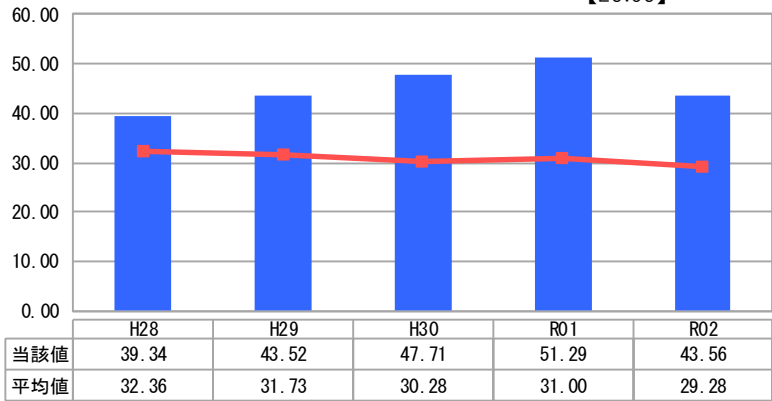


集中的に施設整備を行った結果、普及率が上がり、水洗化率が類似団体を上回っている。

(2) 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

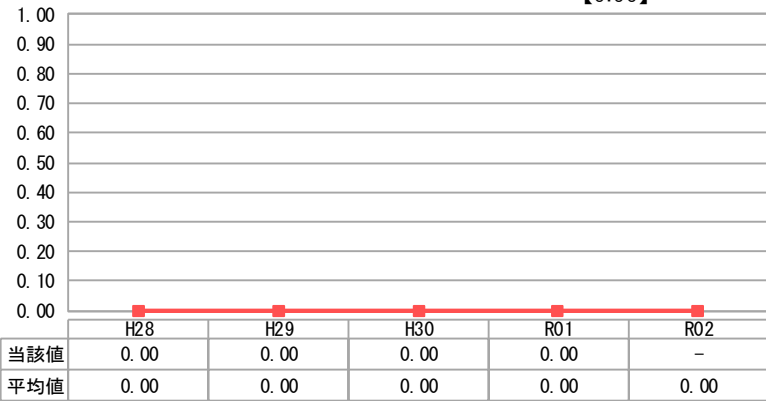
【29.09】



施設の老朽化が進み、増加傾向にある。
※令和2年度は期中の固定資産除却（処理場）により一時的に減少

②管渠老朽化率(%)

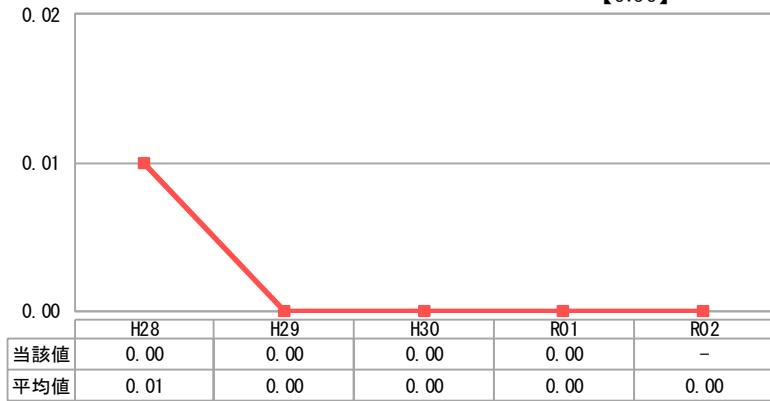
【0.00】



該当なし

③管渠改善率(%)

【0.00】

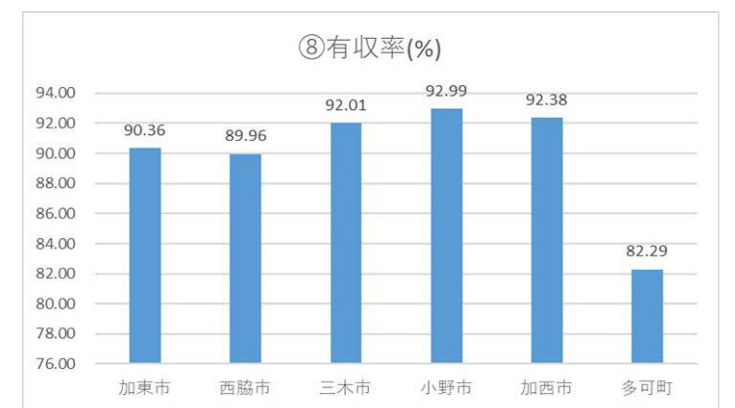
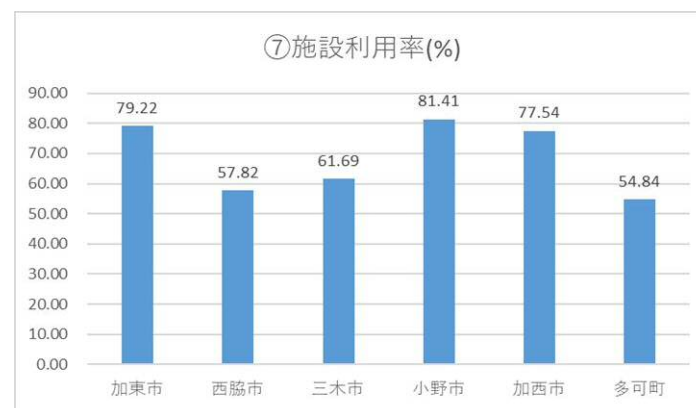
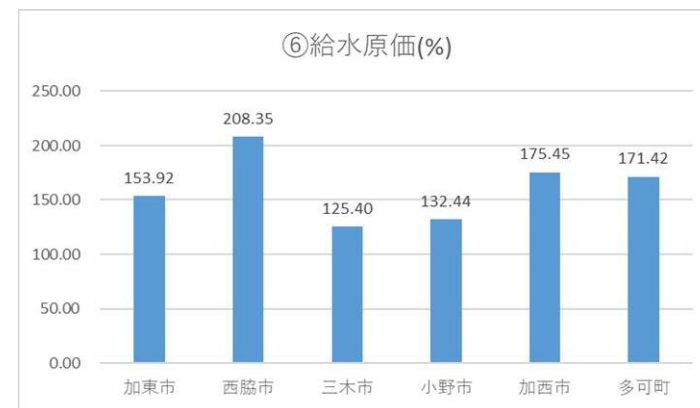
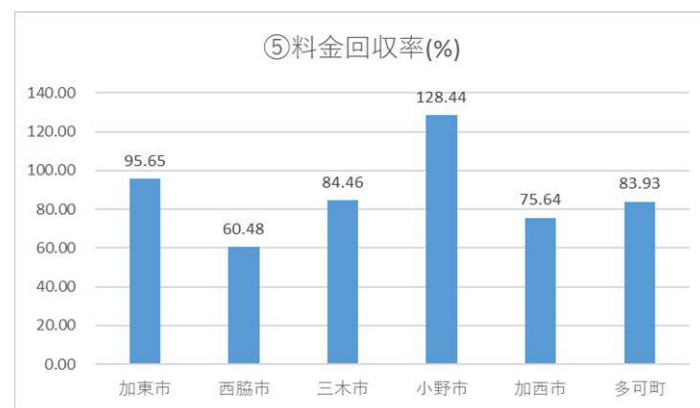
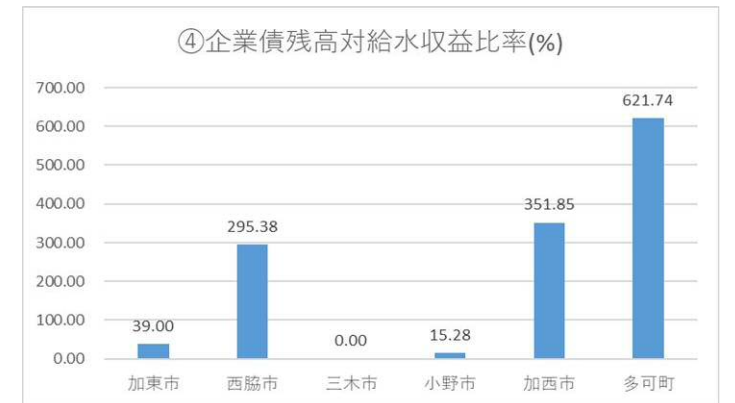
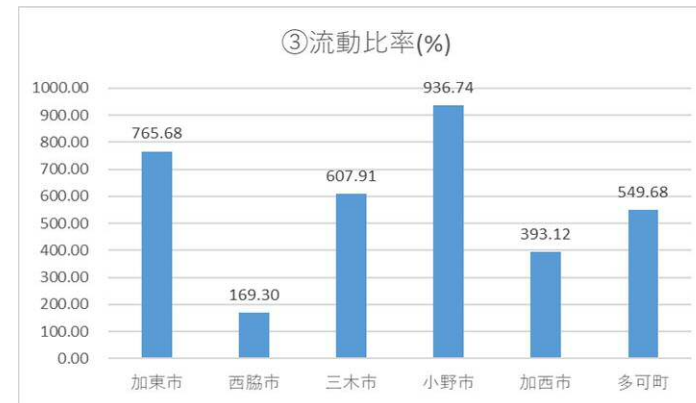
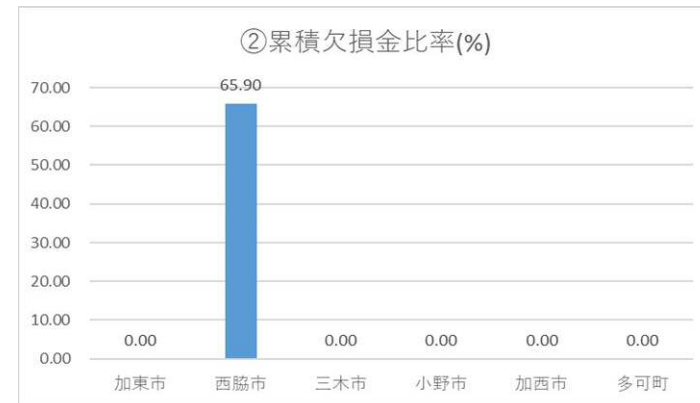
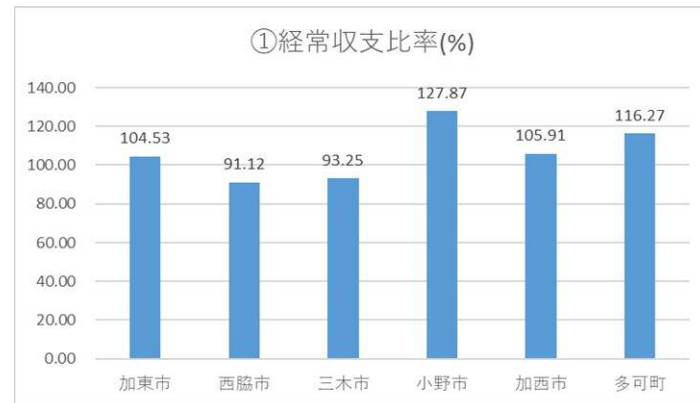


該当なし

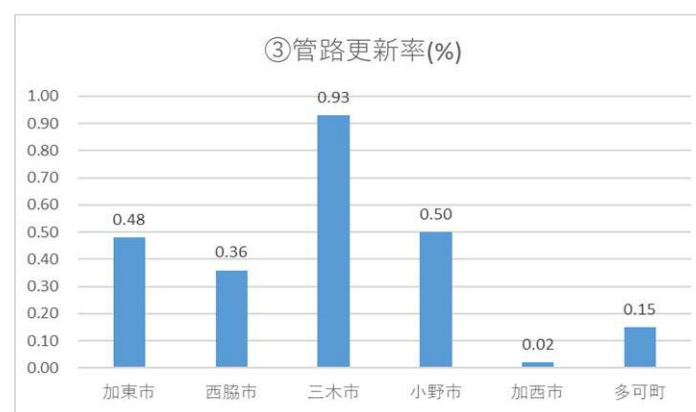
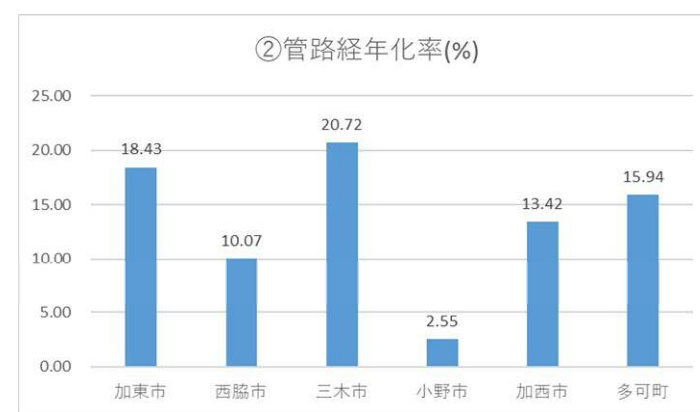
※小規模集合排水処理事業により整備した下水道は、公共下水道への接続が完了し、令和2年度末で本事業が終了した。

(参考・近隣他市町との比較) 1 水道事業)

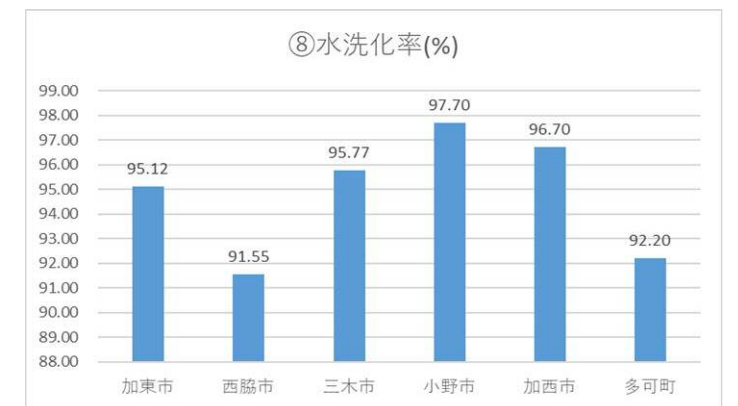
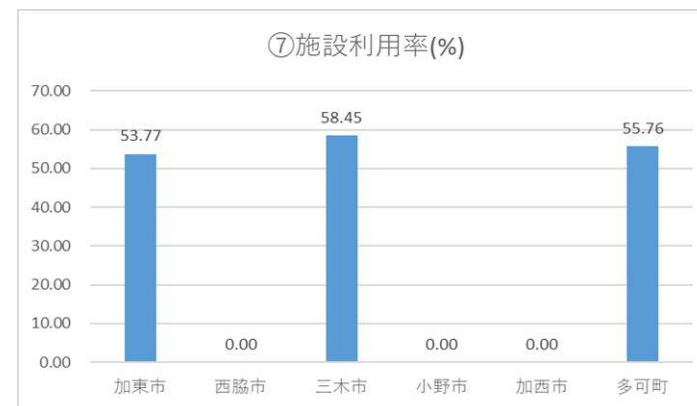
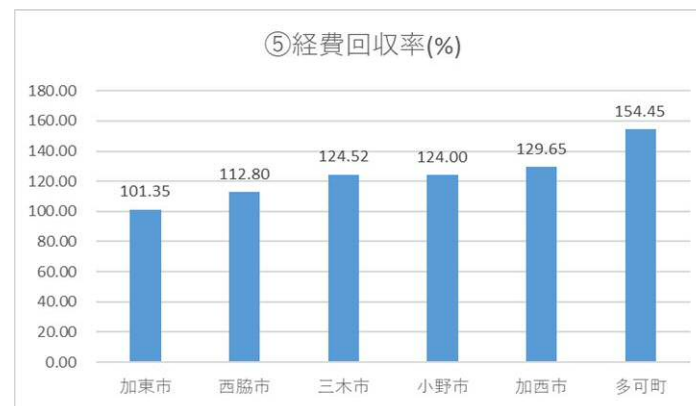
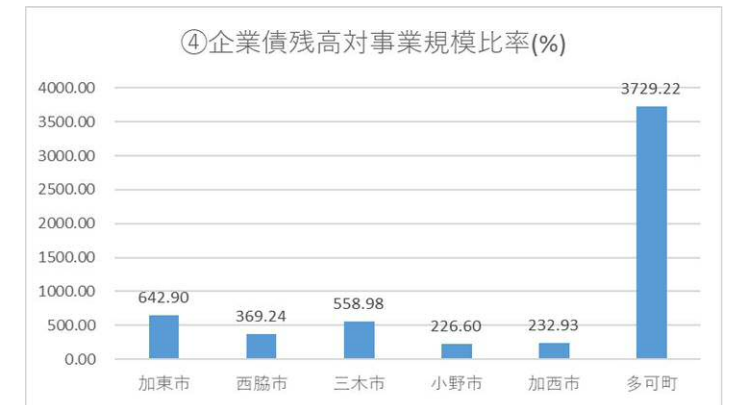
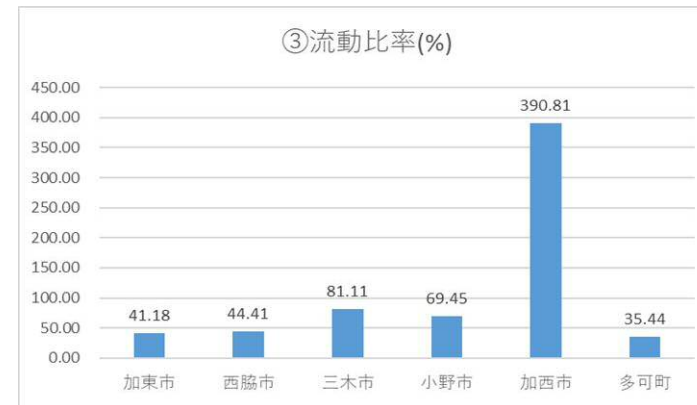
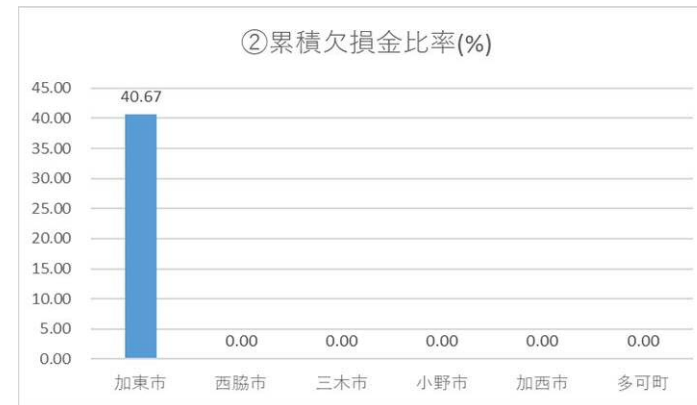
(1) 経営の健全性・効率性



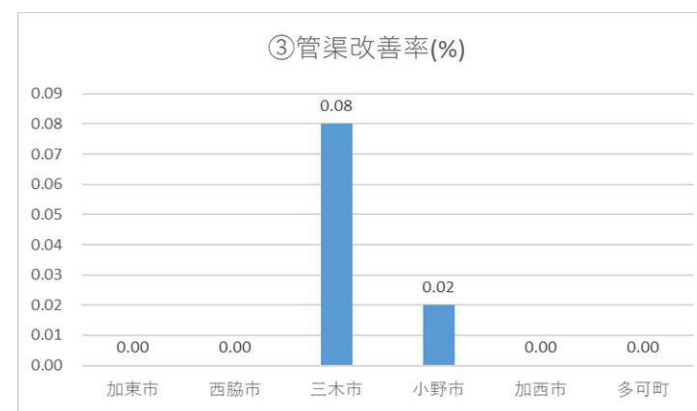
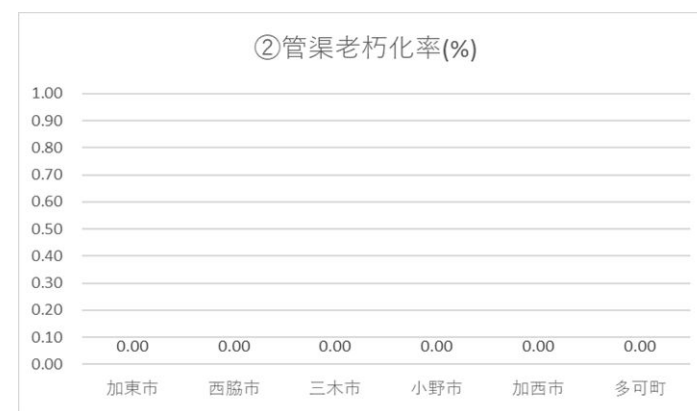
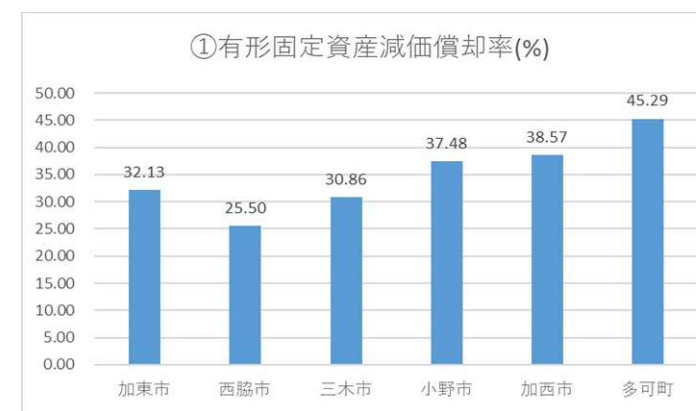
(2) 老朽化の状況



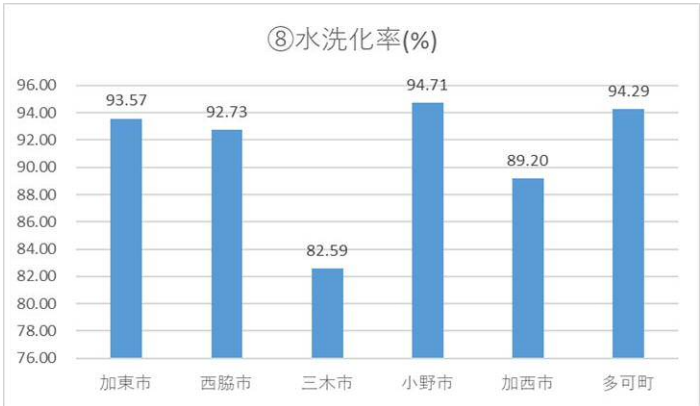
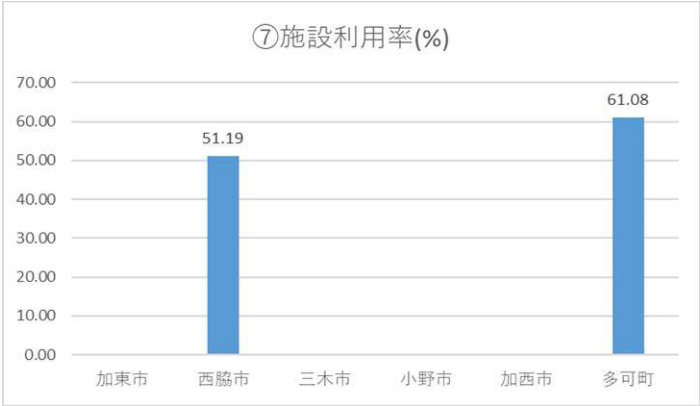
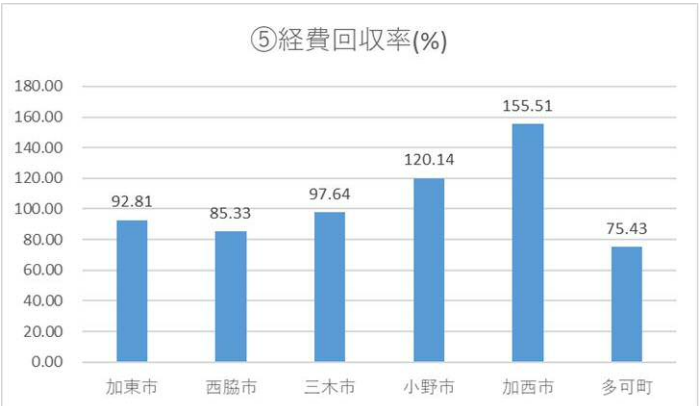
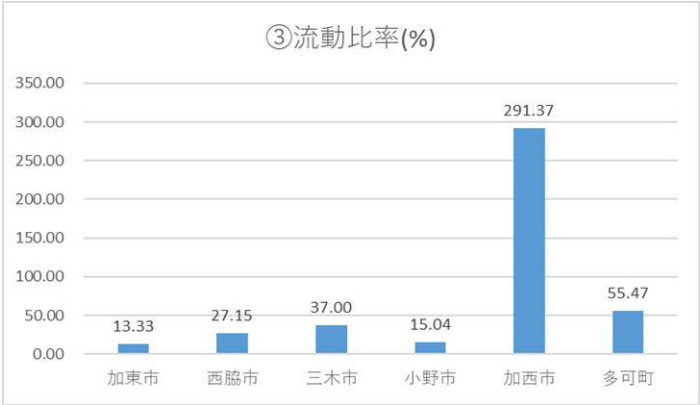
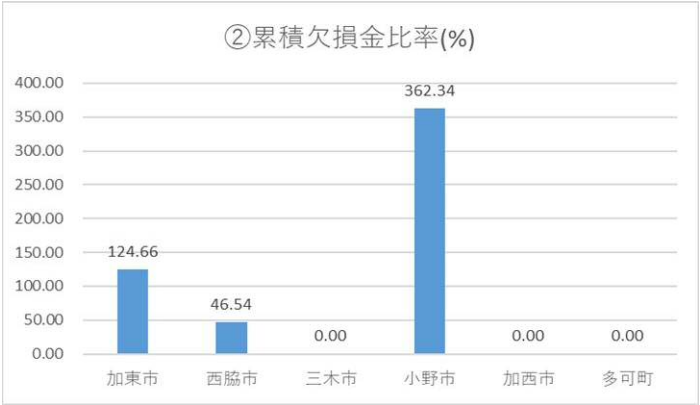
(1) 経営の健全性・効率



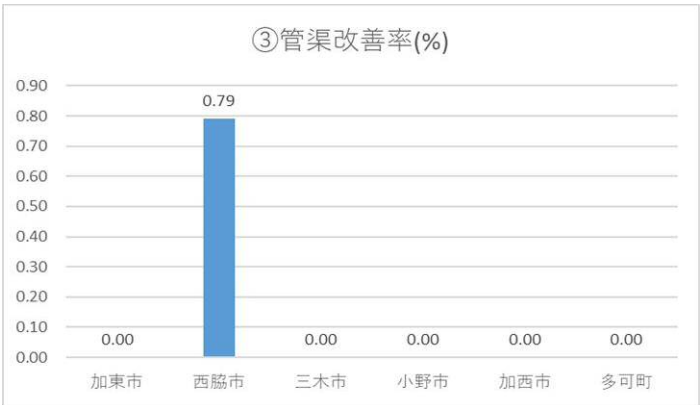
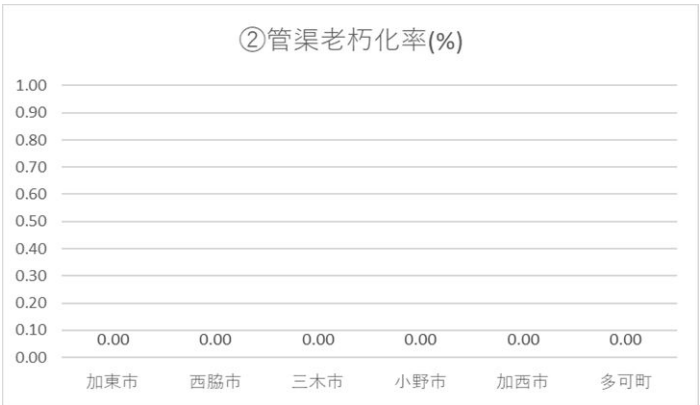
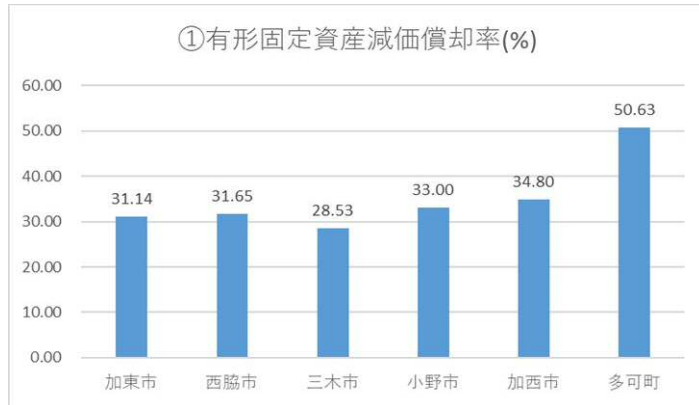
(2) 老朽化の状況



(1) 経営の健全性・効率



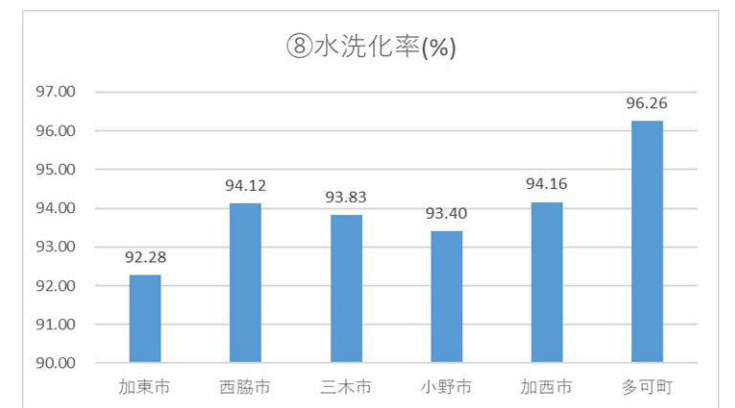
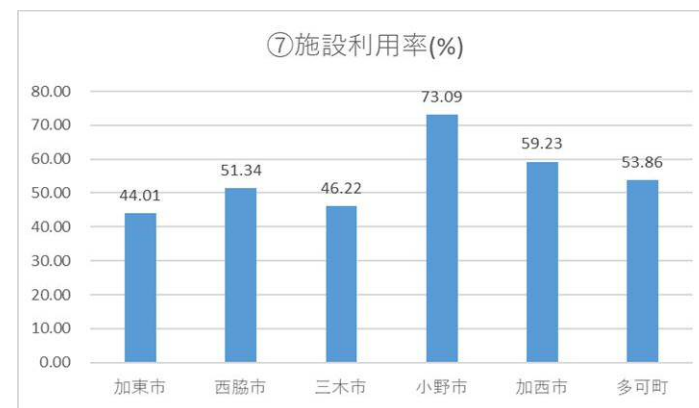
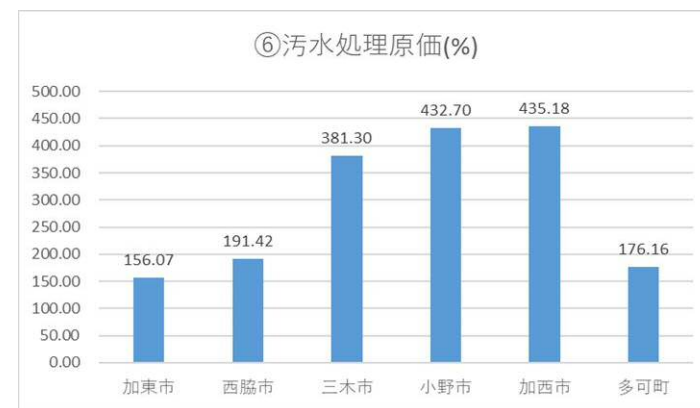
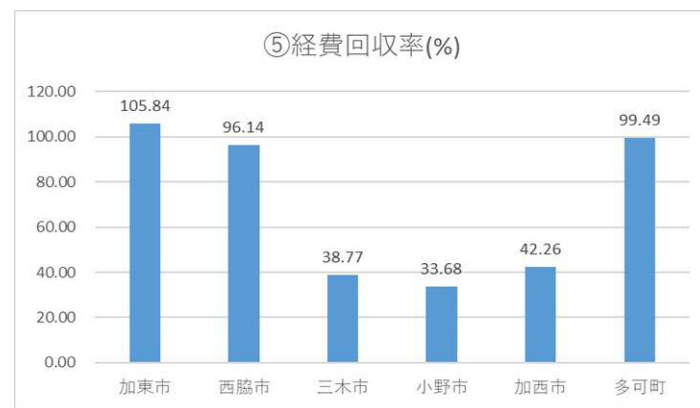
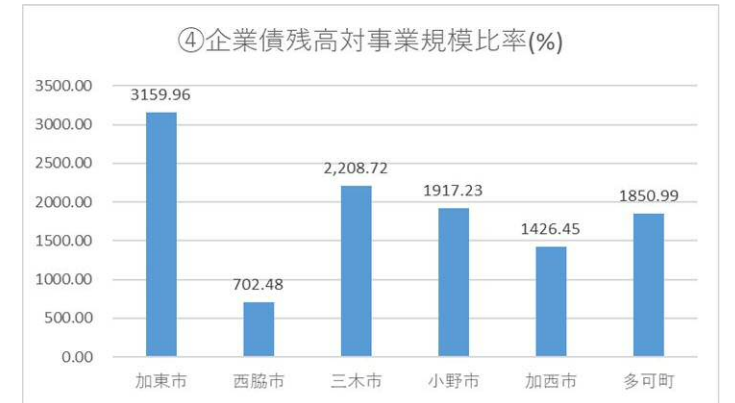
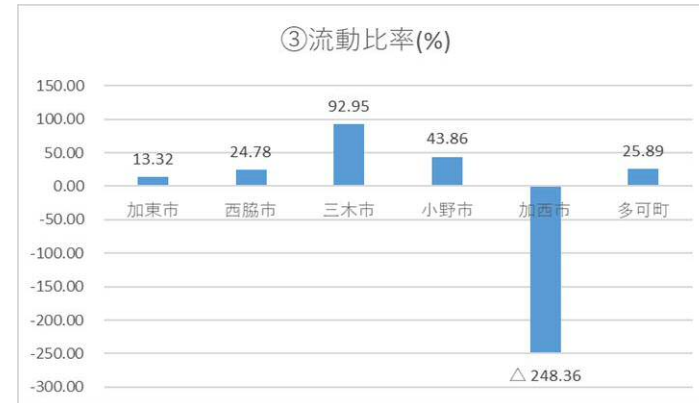
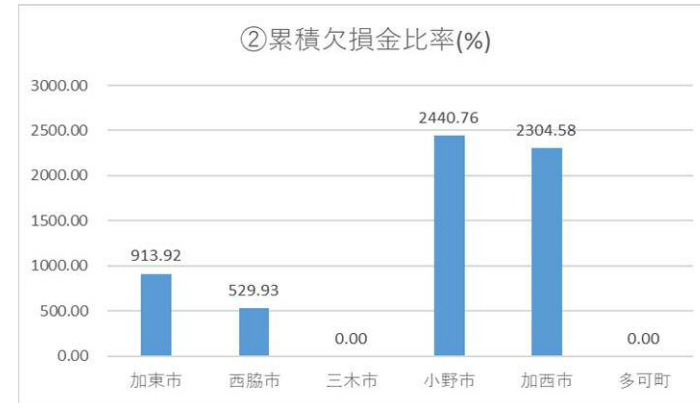
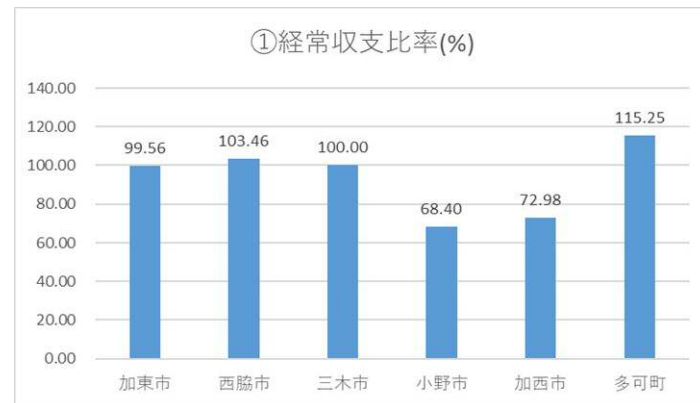
(2) 老朽化の状況



(参考・近隣他市町との比較

2－3 農業集落排水事業)

(1) 経営の健全性・効率



(2) 老朽化の状況

